

第2章 医療・介護等に関する現状調査

第2章 医療・介護等に関する現状調査

長岡市における医療・介護等に関する需要と供給の状況を把握するため、以下の5種類のアンケート調査を実施した。

- ・ 医療機関向けアンケート調査
- ・ ケアマネジャー向けアンケート調査
- ・ 歯科医師向けアンケート調査
- ・ 保険薬局向けアンケート調査
- ・ 訪問看護ステーション向けアンケート調査

以下、それぞれのアンケート調査における結果を示す。

1 医療機関向けアンケート調査

(1) アンケート調査方法

【対象】長岡市内に立地する医療機関（全151件）

【調査時期】平成26年6月18日発送、10月20日まで回収

【方法】郵送による配布・回収

【調査項目】

1. 在宅医療・看取りの実施状況	
2. 在宅医療を受けている患者について	<ul style="list-style-type: none">・ 患者数及び認知症患者数・ 患者の居住地域・ 在宅医療提供可能地域
3. 1か月間に対応可能な在宅患者数	
4. 連携先	<ul style="list-style-type: none">・ 病院・診療所・ 歯科診療所・ 訪問看護ステーション・ 地域包括支援センター・ 介護サービス事業所など
5. 緊急入院が必要となった場合の受入れ先の有無	
6. 在宅医療を始める際の障壁	
7. 在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組	
8. 在宅医療に対する行政の支援等についての意見	

(2) アンケート調査票

地域包括ケアシステム構築に向けた地域資源・ニーズ等に関する調査 —医療機関向け調査票—

医療機関名			
所在地			
ご記入担当者		連絡先電話番号	

問1. 在宅医療についてお答えください。

① 貴病院・診療所では在宅医療（往診又は訪問診療）を行っていますか（○印はひとつ）。

1. 行っている 2. 行っていないが今後行う予定 3. 行っていない（今後行う予定はない）

② 貴病院・診療所では在宅での看取りを行っていますか（○印はひとつ）。

1. 行っている 2. 行っていないが今後行う予定 3. 行っていない（今後行う予定はない）

問2. 貴病院・診療所で、在宅医療を提供されている患者についてご記入下さい。

① 平成26年6月現在で、在宅医療を提供されている個人宅及び施設別の患者数とそのうち認知症患者数についてご記入下さい。

個人宅	名（うち認知症がある	名）
施設	名（うち認知症がある	名）

② 平成26年6月現在で、在宅医療を提供されている患者がお住まいの地域の該当する番号すべてに○印をお付け下さい。

1. 包括なかしま	4. 包括みやうち	7. 中之島	10. 山古志	13. 栃尾	16. 川口
2. 包括けさじろ	5. 包括まきやま	8. 越路	11. 小国	14. 寺泊	17. その他
3. 包括ふそき	6. 包括しながおか	9. 三島	12. 和島	15. 与板	()

③ ②以外で、在宅医療を提供していた、または、提供可能な地域について、該当する番号すべてに○印をお付け下さい。

1. 包括なかしま	4. 包括みやうち	7. 中之島	10. 山古志	13. 栃尾	16. 川口
2. 包括けさじろ	5. 包括まきやま	8. 越路	11. 小国	14. 寺泊	17. その他
3. 包括ふそき	6. 包括しながおか	9. 三島	12. 和島	15. 与板	()

問3. 貴病院・診療所において、現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者はおおよそ何名くらいですか。

おおよそ 名

問4. 在宅医療を実施するに当たって、どの病院・診療所や事業所・施設と連携してられましたか。連携先の該当する番号に○印をお付け下さい。また選択肢のない機関は名称をすべてご記入下さい。

病院・診療所	1. 県立精神医療センター 2. 立川総合病院 3. 田宮病院 4. 長岡中央総合病院 5. 長岡赤十字病院 6. 長岡西病院 7. 長岡保養園	8. 長岡療育園 9. 三島病院 10. 悠遊健康村病院 11. 吉田病院 12. 診療所ほか（機関名称をすべてご記入ください） []
歯科診療所		

訪問看護ステーション	1. こぶし 訪問看護ステーション 2. たちかわ訪問看護ステーション 3. 長岡赤十字病院 4. 長岡中央訪問看護ステーション 5. 訪問看護ステーション こしじ 6. 訪問看護ステーション さんわ	7. 訪問看護ステーション すまいる 8. 訪問看護ステーション たんぼぼ 9. 訪問看護ステーション とちお 10. 訪問看護ステーション みつごうや 11. 吉田病院長町訪問看護ステーション 12. その他()		
地域包括支援センター	1. なかじま 2. けさじろ 3. ふそき	4. みやうち・やまこし 5. まきやま・みしま 6. にしながおか	7. なかのしま・よいた 8. こしじ・おぐに 9. わしま・たらどまり	10. とちお 11. かわぐち 12. 他()
介護サービス事業所など	ケアマネジャー、入浴サービスや介護用品レンタルなどの事業所など何カ所くらい利用されていますか。 カ所くらい			

問5. 往診や訪問診療で対応中の患者が、緊急入院が必要となった場合の受入れ先はありますか。
ある場合は、受入れ先の名称をすべてご記入下さい。

1. ある	→ (受入れ先の具体的な名称をすべてご記入ください。)
2. ない	
3. 決めていない	

問6. 在宅医療を始める際の障壁は何だと思われますか (〇はいくつでも)

1. 医師や看護師の数の不足
2. 夜間、休日の対応が困難
3. 通常外来が混みすぎているため
4. バックアップ病院がない
5. 在宅医療、往診、訪問診療を引き受けてくれる診療所がない
6. 医師の高齢化
7. 家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足
8. 在宅医療・看護に充てる時間がとれない
9. 医師・看護師の体力
10. 訪問診療時、外来診療ができない
11. その他()

問7. 在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組に〇をお付け下さい (〇はいくつでも)。

1. 在宅療養支援診療所の強化型になるための連携先を探しやすくする (連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置)
2. 往診の夜間・休日対応を、多数の診療所間で当番制にして受け持つ
3. 急変時の対応 (救急搬送等) について事前に確認する
4. 診療所医師が病気や研修参加のため不在になった時、数日間 (1週間から1ヶ月程度)、診療を代行する医師を総合病院から派遣してもらえる体制
5. 在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担
6. 訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築
7. 中学校区単位 (若しくは区単位) で多職種との情報交換・顔合わせができる場の設置
8. 情報共有ソフト等を使ったITツールの活用
9. 医療制度や在宅医療に関する市民教育

問8. 在宅医療に対する行政の支援等について、ご意見をご記入下さい。

--

(3) アンケート調査結果

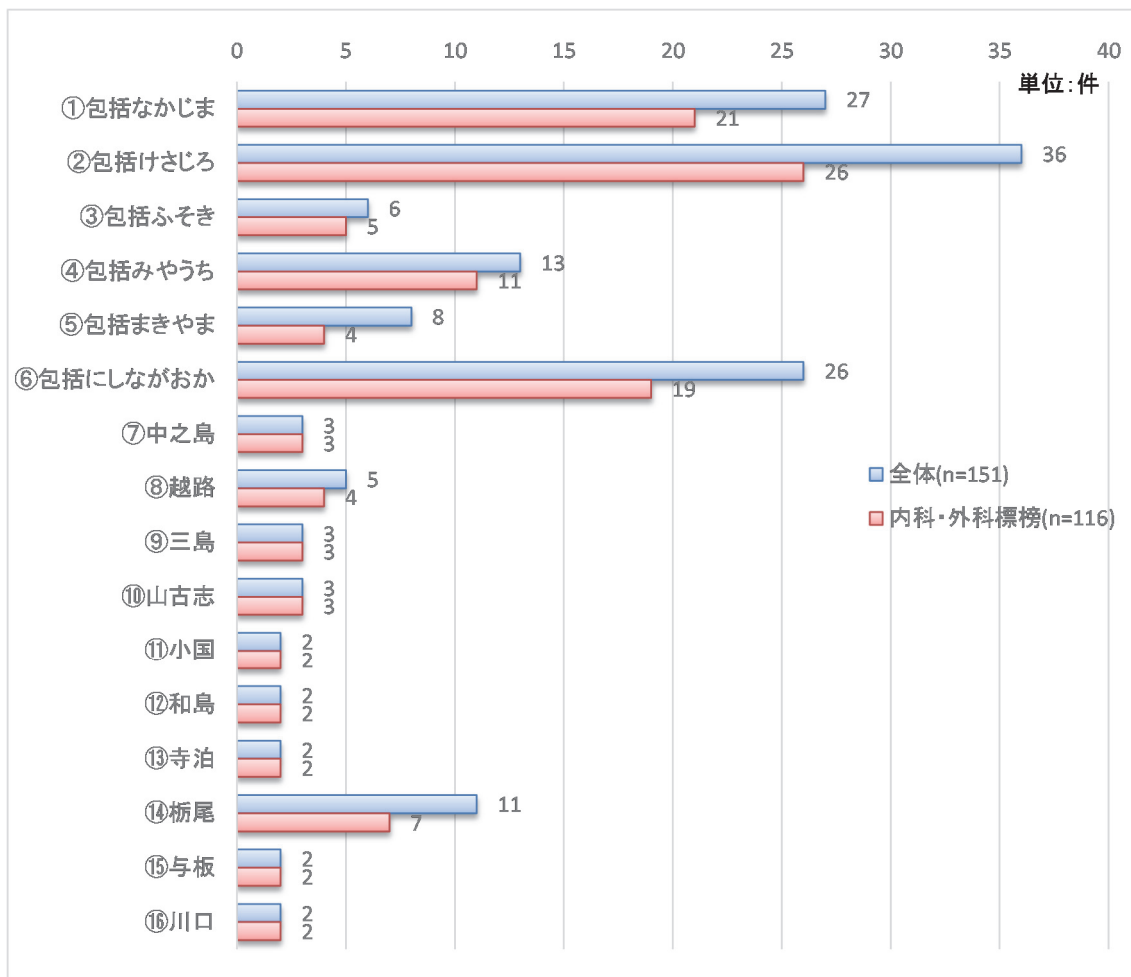
①回収機関数

有効回答は151機関であった（回収率100%）。

回答のあった医療機関151件について、地域別の分布状況を見ると、「包括けさじろ」が36件で最も多く、「包括なかじま」が27件、「包括にしながおか」が26件、「包括みやうち」13件、「栃尾」11件などの順となっている。

このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「包括けさじろ」が26件で最も多く、「包括なかじま」が21件、「包括にしながおか」が19件、「包括みやうち」11件、「栃尾」7件などとなっている。

図表2-1 回答のあった医療機関の地域別の分布状況



②在宅医療の取組状況

1. 在宅医療（往診又は訪問診療）の取組状況

在宅医療（往診又は訪問診療）を「行っている」が 56.3%と過半数を占め、「行っていない」が 42.3%となっている。

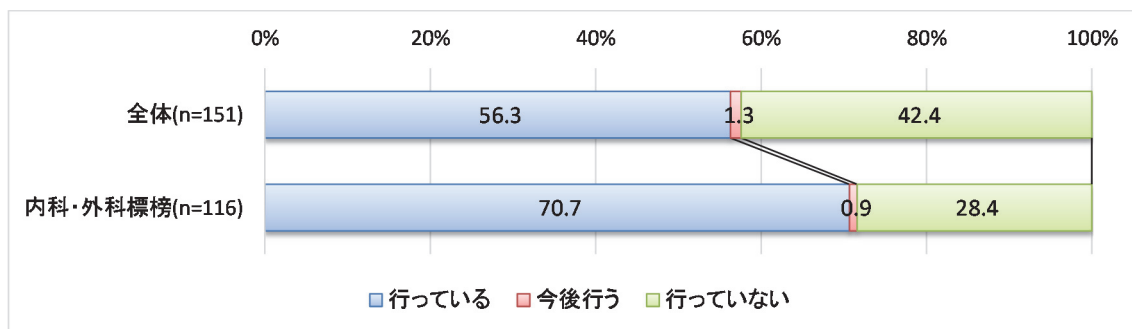
このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「行っている」が 70.7%とウェイトが高まっている。

これを地域別にみると、「包括けさじろ」「包括なかじま」「包括にしながおか」「包括みやうち」では、「行っている」が 10 件以上となっている。また、「今後行う」という回答は、「包括にしながおか」で 2 件となっている。

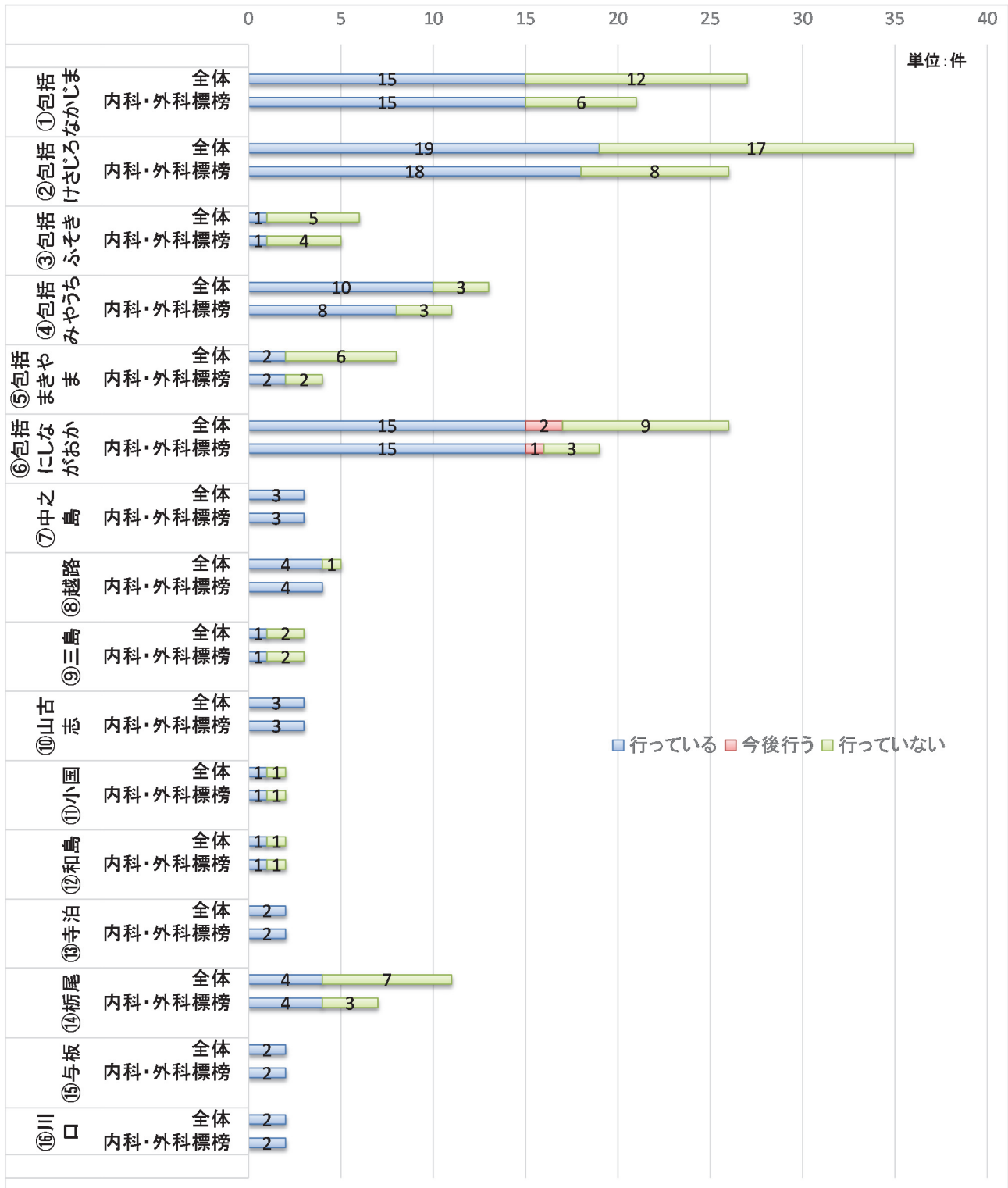
さらに、「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、地域別でも「行っていない」とする機関が少なくなっていることが分かる。

医師の年齢が高齢化しているにも関わらず、内科・外科を標榜している医療機関は在宅での看取りに積極的に取り組んでいることがみてとれる。

図表 2 - 2 在宅医療（往診又は訪問診療）の取組状況



図表 2-3 在宅医療（往診又は訪問診療）の取組状況（地域別）



2. 在宅での看取りの取組状況

在宅での看取りを「行っている」が45.7%、「行っていない」が51.0%となっている。

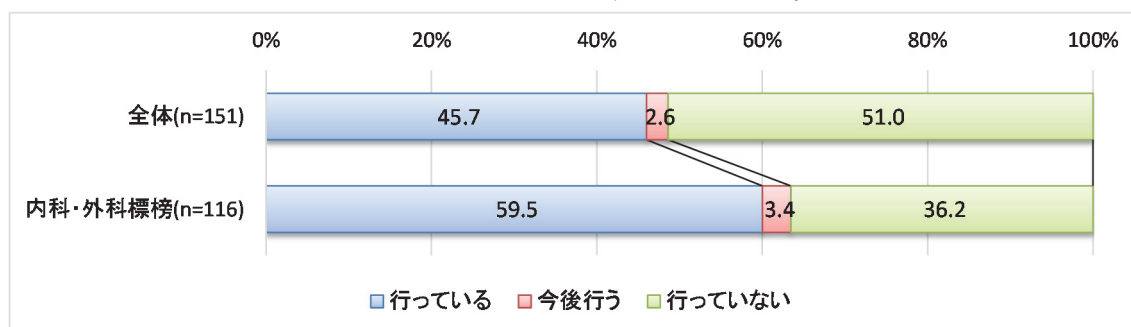
このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「行っている」が59.5%とウェイトが高まっている。

これを地域別にみると、「包括なかじま」「包括けさじろ」では10件以上となっている。また、「今後行う」という回答は、「包括にしながおか」で2件、「包括みやうち」「三島」が1件ずつとなっている。

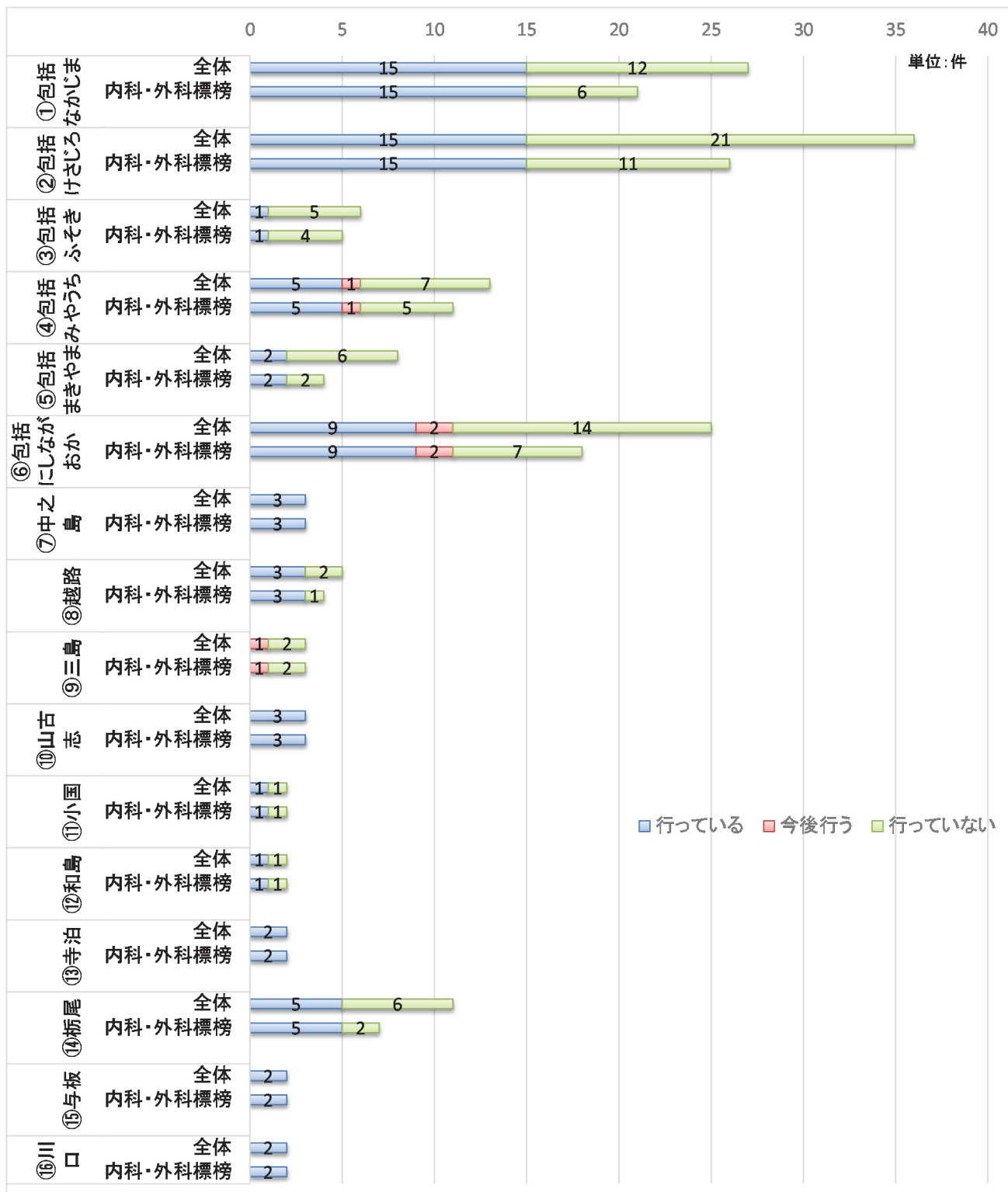
さらに、「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、地域別でも「行っていない」とする機関が少なくなっていることが分かる。

看取りについても、在宅医療同様、医師の年齢が高齢化しているにも関わらず、内科・外科を標榜している医療機関は在宅での看取りに積極的に取り組んでいることがみてとれる。

図表 2-4 在宅での看取りの取組状況



図表 2-5 在宅での看取りの取組状況（地域別）



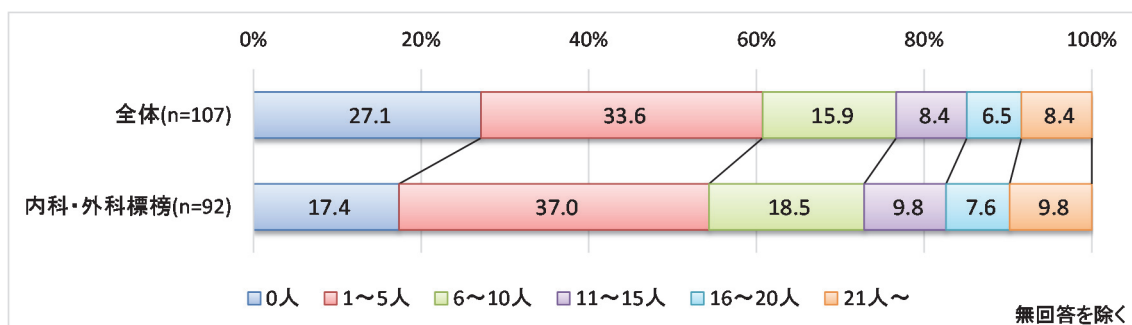
③在宅医療の提供状況

1. 個人宅への在宅医療の提供状況

個人宅に在宅医療を提供している医療機関は、患者数が「1～5人」という医療機関が33.6%で最も多く、「0人(個人宅での患者はなし)」が27.1%、「6人～10人」が15.9%、「11～15人」が8.4%、「16～20人」が6.5%、「21人以上」が8.4%となっている。

このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「0人」が17.4%と全体に比べて10ポイントほど少なく、逆に「21人以上」をはじめ、対応人数の多いところが多くなっている。これを医療機関の所在地域別にみると、旧長岡市内及び中之島、寺泊、川口で、在宅医療の対応人数の多い医療機関が比較的多くなっている。

図表 2-6 個人宅への在宅医療の提供状況



図表 2-7 個人宅への在宅医療の提供状況（全体、地域別）

全体	問2. 1. 患者数 個人宅(上段:機関数/下段:%)						合計
	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～人	
合計	29 27.1	36 33.6	17 15.9	9 8.4	7 6.5	9 8.4	107 100.0
①包括なかじま	5 25.0	5 25.0	5 25.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	20 100.0
②包括けさじろ	9 37.5	8 33.3	3 12.5	2 8.3	1 4.2	1 4.2	24 100.0
③包括ふそき	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	3 100.0
④包括みやうち	2 20.0	4 40.0	4 40.0	-	-	-	10 100.0
⑤包括まきやま	3 60.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0	5 100.0
⑥包括にしながお か	5 27.8	9 50.0	1 5.6	1 5.6	-	2 11.1	18 100.0
⑦中之島	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7	3 100.0
⑧越路	-	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	4 100.0
⑨三島	-	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0
⑩山古志	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	3 100.0
⑪小国	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0
⑫和島	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0
⑬寺泊	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	2 100.0
⑭栃尾	3 42.9	2 28.6	-	1 14.3	1 14.3	-	7 100.0
⑮与板	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	2 100.0
⑯川口	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	2 100.0

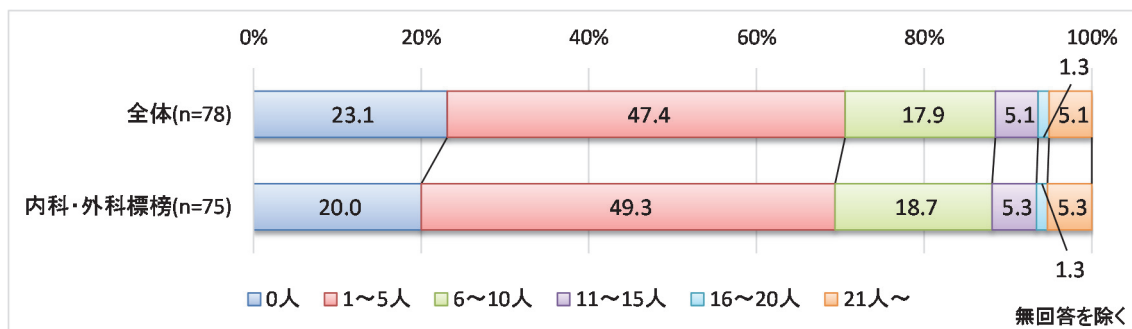
図表 2 - 7 個人宅への在宅医療の提供状況（内科・外科標榜、地域別）

内科・外科標榜	問2. 1. 患者数_個人宅(上段:機関数/下段:%)						
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人~	合計
合計	16 17.4	34 37.0	17 18.5	9 9.8	7 7.6	9 9.8	92 100.0
①包括なかじま	2 11.8	5 29.4	5 29.4	2 11.8	2 11.8	1 5.9	17 100.0
②包括けさじろ	6 30.0	7 35.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	20 100.0
③包括ふそき	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3	- -	3 100.0
④包括みやうち	1 12.5	3 37.5	4 50.0	- -	- -	- -	8 100.0
⑤包括まきやま	2 50.0	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	4 100.0
⑥包括にしながお か	2 13.3	9 60.0	1 6.7	1 6.7	- -	2 13.3	15 100.0
⑦中之島	- -	- -	- -	1 33.3	- -	2 66.7	3 100.0
⑧越路	- -	2 50.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	4 100.0
⑨三島	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0
⑩山古志	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	3 100.0
⑪小国	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0
⑫和島	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0
⑬寺泊	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	2 100.0
⑭栃尾	1 20.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	5 100.0
⑮与板	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	2 100.0
⑯川口	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	2 100.0

また、そのうち、在宅医療の個人宅の患者数のうち認知症患者数が「1～5人」という医療機関が47.4%で最も多く、「0人（個人宅での認知症患者はなし）」が23.1%、「6人～10人」が17.9%、「11～15人」が5.1%、「16～20人」が1.3%で、「21人以上」が5.1%となっている。

これは、「内科・外科」を標榜している医療機関でも傾向は同様である。さらに、医療機関の所在地域別にみると、図表2-9のとおりである。

図表2-8 在宅医療を提供している個人宅の患者のうちの認知症患者数



図表2-9 在宅医療の個人宅の患者のうちの認知症患者数（全体、地域別）

全体	問2. 1. 個人宅 認知症患者数(上段:機関数/下段:%)						合計
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~人	
合計	18 23.1	37 47.4	14 17.9	4 5.1	1 1.3	4 5.1	78 100.0
①包括なかじま	2 14.3	6 42.9	4 28.6	2 14.3	-	-	14 100.0
②包括けさじろ	7 36.8	8 42.1	2 10.5	1 5.3	-	1 5.3	19 100.0
③包括ふそき	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
④包括みやうち	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-	-	-	7 100.0
⑤包括まきやま	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	3 100.0
⑥包括にしながお か	5 41.7	6 50.0	-	-	-	1 8.3	12 100.0
⑦中之島	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	3 100.0
⑧越路	-	3 75.0	1 25.0	-	-	-	4 100.0
⑨三島	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑩山古志	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	3 100.0
⑪小国	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑫和島	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑬寺泊	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0
⑭栃尾	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	4 100.0
⑮与板	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑯川口	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	2 100.0

図表 2 - 9 在宅医療の個人宅の患者のうち認知症患者数（内科・外科標榜、地域別）

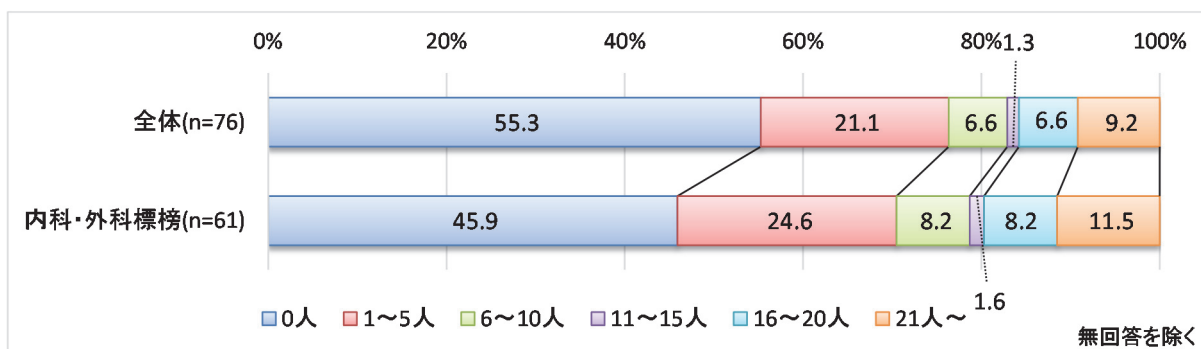
内科・外科標榜	問2. 1. 個人宅 認知症患者数(上段:機関数/下段:%)						
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人~	合計
合計	15 20.0	37 49.3	14 18.7	4 5.3	1 1.3	4 5.3	75 100.0
①包括なかじま	2 14.3	6 42.9	4 28.6	2 14.3	-	-	14 100.0
②包括けさじろ	6 33.3	8 44.4	2 11.1	1 5.6	-	1 5.6	18 100.0
③包括ふそき	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
④包括みやうち	1 16.7	4 66.7	1 16.7	-	-	-	6 100.0
⑤包括まきやま	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	3 100.0
⑥包括にしながお か	4 36.4	6 54.5	-	-	-	1 9.1	11 100.0
⑦中之島	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	3 100.0
⑧越路	-	3 75.0	1 25.0	-	-	-	4 100.0
⑨三島	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑩山古志	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	3 100.0
⑪小国	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑫和島	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑬寺泊	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0
⑭栃尾	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	4 100.0
⑮与板	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑯川口	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	2 100.0

2. 施設への在宅医療の提供状況

施設に在宅医療を提供している医療機関は、患者数が「0人（患者はなし）」という医療機関が55.3%と過半数を占め、「1～5人」が21.1%、「6人～10人」が6.6%、「11～15人」が1.3%、「16～20人」が6.6%で、「21人以上」が9.2%となっている。

このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「0人」が45.9%と全体に比べて割合が小さくなっている。これを地域別にみると、旧長岡市内及び中之島で、在宅医療の対応人数の多い医療機関が比較的多くなっている。

図表2-10 施設への在宅医療提供先患者数



図表2-11 施設への在宅医療の提供状況（地域別）

全体	問2. 1. 患者数 施設(上段:機関数/下段:%)						
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~人	合計
合計	42 55.3	16 21.1	5 6.6	1 1.3	5 6.6	7 9.2	76 100.0
①包括なかじま	6 42.9	4 28.6	-	1 7.1	2 14.3	1 7.1	14 100.0
②包括けさじろ	8 36.4	5 22.7	3 13.6	-	2 9.1	4 18.2	22 100.0
③包括ふそき	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	3 100.0
④包括みやうち	6 75.0	2 25.0	-	-	-	-	8 100.0
⑤包括まきやま	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	4 100.0
⑥包括にしながお か	5 62.5	-	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	8 100.0
⑦中之島	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0
⑧越路	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	3 100.0
⑨三島	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
⑩山古志	3 100.0	-	-	-	-	-	3 100.0
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-
⑫和島	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
⑬寺泊	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑭栃尾	4 80.0	1 20.0	-	-	-	-	5 100.0
⑮与板	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑯川口	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0

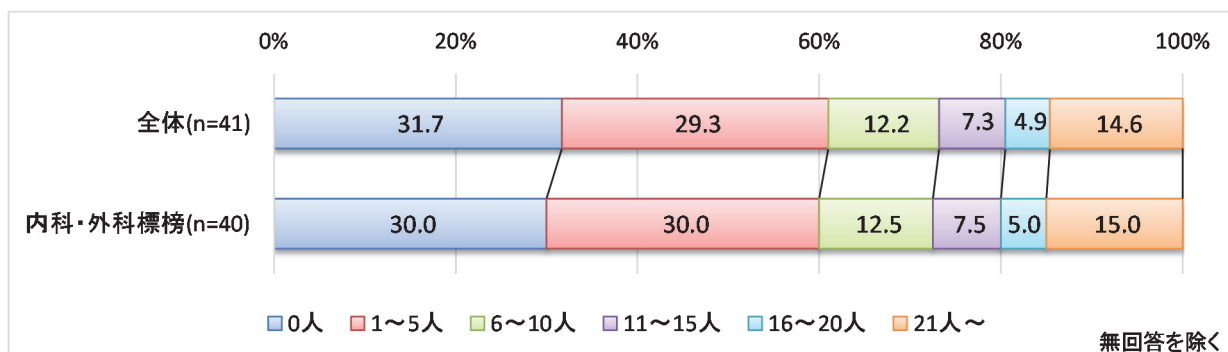
図表 2 - 1 1 施設への在宅医療の提供状況（内科・外科標榜、地域別）

内科・外科標榜	問2. 1. 患者数_施設(上段:機関数/下段:%)						合計
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人~	
合計	28 45.9	15 24.6	5 8.2	1 1.6	5 8.2	7 11.5	61 100.0
①包括なかじま	3 27.3	4 36.4	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1	11 100.0
②包括けさじろ	5 27.8	4 22.2	3 16.7	- -	2 11.1	4 22.2	18 100.0
③包括ふそき	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -	- -	3 100.0
④包括みやうち	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -	- -	6 100.0
⑤包括まきやま	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	3 100.0
⑥包括にしながお か	2 40.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	5 100.0
⑦中之島	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0
⑧越路	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	3 100.0
⑨三島	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
⑩山古志	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0
⑪小国	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
⑫和島	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
⑬寺泊	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
⑭栃尾	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	3 100.0
⑮与板	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
⑯川口	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

また、在宅医療を提供している施設の患者数のうち認知症患者数をみると、「0人（患者はなし）」が31.7%と過半数を占め、「1～5人」が29.3%、「6人～10人」が12.2%、「11～15人」が7.5%、「16～20人」が4.9%、「21人以上」が14.6%となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみてもあまり大きな違いはない。これを医療機関の所在地域別にみると、図表 2-13 のとおりである。

図表 2-12 在宅医療の施設の患者のうち認知症患者数



図表 2-13 在宅医療の施設の患者のうち認知症患者数（地域別）

全体	問2. 1. 施設_認知症患者数(上段:機関数/下段:%)						合計
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~人	
合計	13 31.7	12 29.3	5 12.2	3 7.3	2 4.9	6 14.6	41 100.0
①包括なかじま	1 11.1	4 44.4	-	3 33.3	-	1 11.1	9 100.0
②包括けさじろ	2 15.4	3 23.1	3 23.1	-	1 7.7	4 30.8	13 100.0
③包括ふそき	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
④包括みやうち	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	3 100.0
⑤包括まきやま	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
⑥包括にしながお か	2 40.0	-	2 40.0	-	1 20.0	-	5 100.0
⑦中之島	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0
⑧越路	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-
⑩山古志	3 100.0	-	-	-	-	-	3 100.0
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-
⑯川口	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0

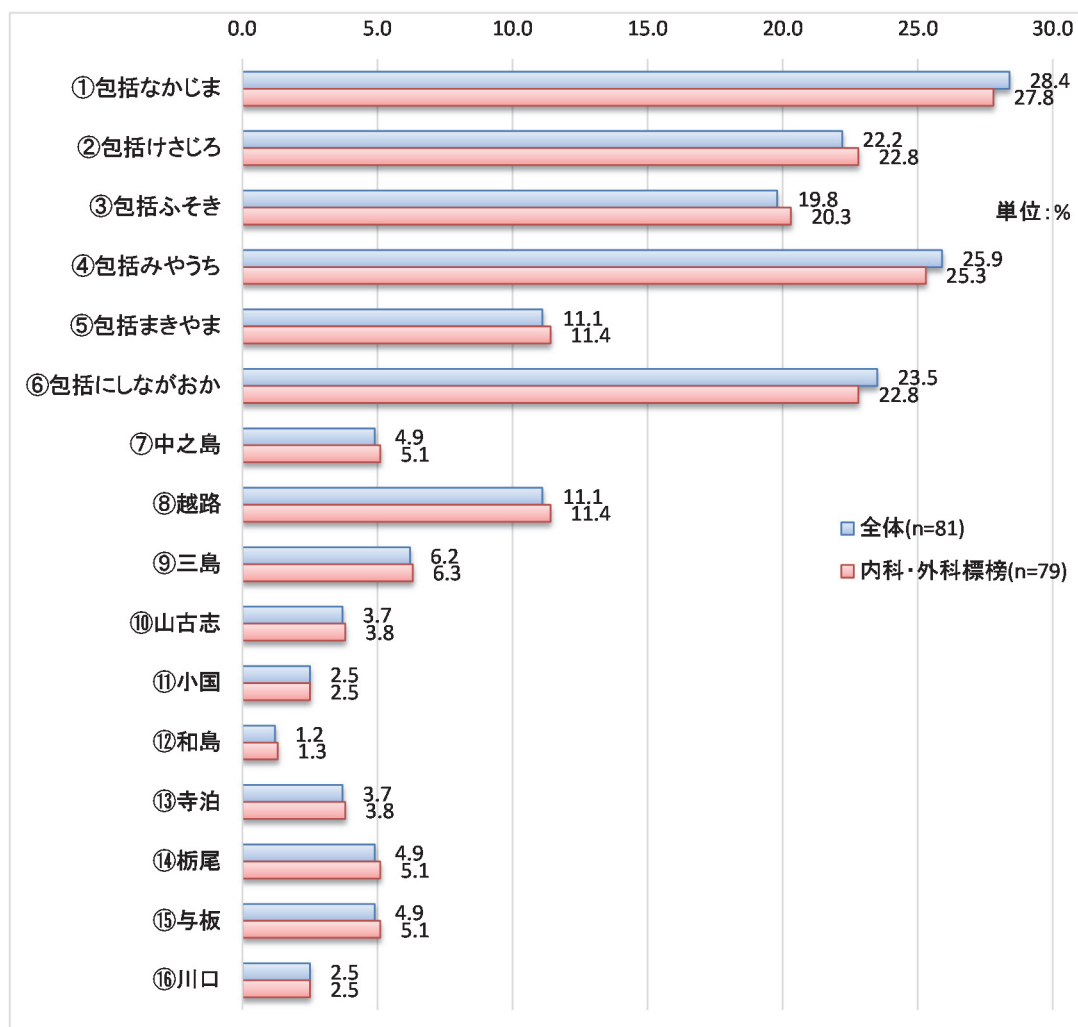
図表 2 - 1 3 在宅医療の施設の患者のうち認知症患者数（内科・外科標榜、地域別）

内科・外科標榜	問2. 1. 施設 認知症患者数(上段:機関数/下段:%)						
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人~	合計
合計	12 30.0	12 30.0	5 12.5	3 7.5	2 5.0	6 15.0	40 100.0
①包括なかじま	1 11.1	4 44.4	-	3 33.3	-	1 11.1	9 100.0
②包括けさじろ	2 15.4	3 23.1	3 23.1	-	1 7.7	4 30.8	13 100.0
③包括ふそき	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
④包括みやうち	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	3 100.0
⑤包括まきやま	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
⑥包括しながおか	1 25.0	-	2 50.0	-	1 25.0	-	4 100.0
⑦中之島	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0
⑧越路	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-
⑩山古志	3 100.0	-	-	-	-	-	3 100.0
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-
⑯川口	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0

3. 在宅医療の提供地域

現在、在宅医療をどの地域まで提供しているかについてみると、「包括なかじま」地域に提供している医療機関が 28.4%で最も多く、「包括みやうち」が 25.9%、「包括にしながおか」が 23.5%、「包括けさじろ」が 22.2%、「包括ふそき」が 19.8%などの順となっている。これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いはない。

図表 2-14 在宅医療の提供地域



	全体(件数)	全体 (n=81、%)	内科・外科標 榜(件数)	内科・外科標 榜(n=79、%)
①包括なかじま	23	28.4	22	27.8
②包括けさじろ	18	22.2	18	22.8
③包括ふそき	16	19.8	16	20.3
④包括みやうち	21	25.9	20	25.3
⑤包括まきやま	9	11.1	9	11.4
⑥包括にしながおか	19	23.5	18	22.8
⑦中之島	4	4.9	4	5.1
⑧越路	9	11.1	9	11.4
⑨三島	5	6.2	5	6.3
⑩山古志	3	3.7	3	3.8
⑪小国	2	2.5	2	2.5
⑫和島	1	1.2	1	1.3
⑬寺泊	3	3.7	3	3.8
⑭栃尾	4	4.9	4	5.1
⑮与板	4	4.9	4	5.1
⑯川口	2	2.5	2	2.5

現在、在宅医療をどの地域まで提供しているかについて、医療機関の所在地域別にみると、表中の対角線上にある数字は、自地域内に提供している医療機関数で、それ以外は自地域以外まで在宅医療を提供している医療機関数を表している。

例えば「包括なかじま」では在宅医療を提供している医療機関は 15 機関あり、そのうち 14 機関が自地域に提供し、「包括みやうち」に 6 機関が、「包括ふそき」に 5 機関が、「包括けさじろ」に 4 機関が提供していることが分かる。

「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括にしながおか」などの医療機関では、自地域以外に居住する患者に提供しているが、旧市町村地域では自地域内への提供にとどまっている。

図表 2-15 在宅医療の提供地域（医療機関の立地地域別）

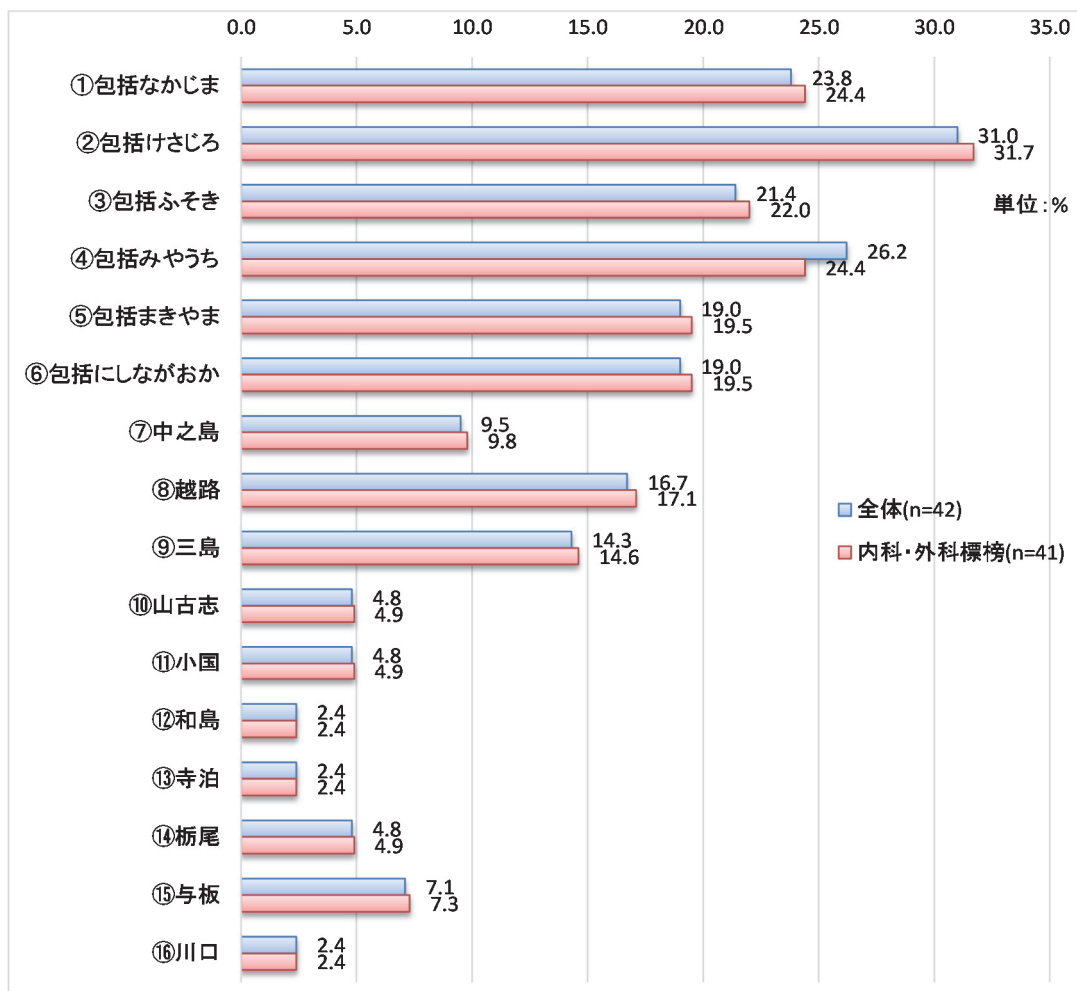
全体		問2.2 患者の住む地域(機関の件数)																
提供範囲	包括なかじま	包括けさじろ	包括ふそき	包括みやうち	包括まきやま	包括にしながおか	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	その他	合計
①包括なかじま	14	4	5	6	3	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	15
②包括けさじろ	6	13	9	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
③包括ふそき	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
④包括みやうち	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
⑤包括まきやま	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
⑥包括にしながおか	3	1	1	3	2	12	-	3	1	-	-	-	-	-	1	-	2	13
⑦中之島	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
⑧越路	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
⑩山古志	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2
合計	23	18	16	21	9	19	4	9	5	3	2	1	3	4	4	2	5	81

内科・外科標榜		問2.2 患者の住む地域(機関の件数)																
提供範囲	包括なかじま	包括けさじろ	包括ふそき	包括みやうち	包括まきやま	包括にしながおか	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	その他	合計
①包括なかじま	14	4	5	6	3	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	15
②包括けさじろ	5	13	9	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
③包括ふそき	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
④包括みやうち	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
⑤包括まきやま	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
⑥包括にしながおか	3	1	1	3	2	12	-	3	1	-	-	-	-	-	1	-	2	13
⑦中之島	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
⑧越路	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
⑩山古志	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2
合計	22	18	16	20	9	18	4	9	5	3	2	1	3	4	4	2	4	79

4. 在宅医療を提供していた、又は、提供可能な地域

これまでに在宅医療を提供していた、又は、提供可能な地域をみると、「包括けさじろ」という医療機関が31.0%で最も多く、「包括みやうち」が26.2%、「包括なかじま」が23.8%、「包括ふそき」が21.4%、「包括まきやま」及び「包括にしながおか」が19.0%などの順となっている。これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いはない。

図表2-16 在宅医療を提供していた、又は、提供可能な地域



	件数	全体 (n=42、%)	内科・外科標 榜(件数)	内科・外科標 榜(n=41、%)
①包括なかじま	10	23.8	10	24.4
②包括けさじろ	13	31.0	13	31.7
③包括ふそき	9	21.4	9	22.0
④包括みやうち	11	26.2	10	24.4
⑤包括まきやま	8	19.0	8	19.5
⑥包括にしながおか	8	19.0	8	19.5
⑦中之島	4	9.5	4	9.8
⑧越路	7	16.7	7	17.1
⑨三島	6	14.3	6	14.6
⑩山古志	2	4.8	2	4.9
⑪小国	2	4.8	2	4.9
⑫和島	1	2.4	1	2.4
⑬寺泊	1	2.4	1	2.4
⑭栃尾	2	4.8	2	4.9
⑮与板	3	7.1	3	7.3
⑯川口	1	2.4	1	2.4

これを医療機関の所在地域別にみると、例えば「包括けさじろ」の医療機関で在宅医療を提供しているのは9機関あり、自地域に提供していた、又は、提供可能地域が「包括なかじま」が4機関、「包括ふそき」が3機関、旧市町村地域でも「中之島」「越路」「三島」が1機関などとなっており、「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括みやうち」「包括にしながおか」の医療機関では、自地域以外への提供可能範囲が比較的広がっている。

図表2-17 在宅医療を提供していた、又は、提供可能な地域（地域別）

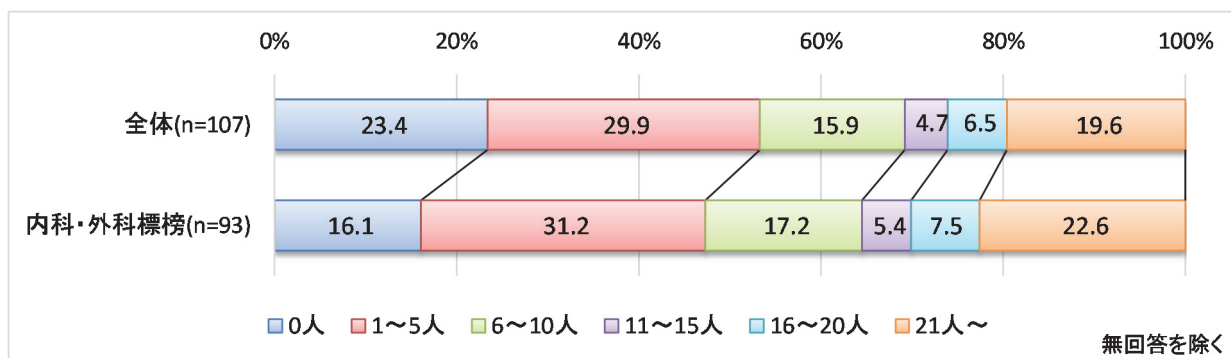
全体		問2.3 提供していた・提供可能な地域(機関の件数)																
提供範囲	包括なかじま	包括けさじろ	包括ふそき	包括みやうち	包括まきやま	包括にしながおか	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	その他	合計
医療機関所在地																		
①包括なかじま	2	3	2	3	3	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8
②包括けさじろ	4	5	3	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
③包括ふそき	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④包括みやうち	2	3	2	5	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
⑤包括まきやま	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑥包括にしながおか	2	2	2	2	3	3	1	4	2	-	1	1	-	-	1	-	1	6
⑦中之島	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
⑧越路	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
⑩山古志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
合計	10	13	9	11	8	8	4	7	6	2	2	1	1	2	3	1	5	42

内科・外科標榜		問2.3 提供していた・提供可能な地域(機関の件数)																
提供範囲	包括なかじま	包括けさじろ	包括ふそき	包括みやうち	包括まきやま	包括にしながおか	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	その他	合計
医療機関所在地																		
①包括なかじま	2	3	2	3	3	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8
②包括けさじろ	4	5	3	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
③包括ふそき	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④包括みやうち	2	3	2	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
⑤包括まきやま	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑥包括にしながおか	2	2	2	2	3	3	1	4	2	-	1	1	-	-	1	-	1	6
⑦中之島	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
⑧越路	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑨三島	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
⑩山古志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑫和島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
合計	10	13	9	10	8	8	4	7	6	2	2	1	1	2	3	1	5	41

③現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数

現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数は、「1～5人」という医療機関が29.9%で最も多く、「0人（対応できない）」が23.4%、「6～10人」が15.9%などとなっており、「21人以上」という医療機関が19.6%あった。このうち「内科・外科」を標榜している医療機関についてみると、「0人」が16.1%と少なくなっている。

図表2-18 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数



これを医療機関の所在地域別にみると、「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括にしながおか」「中之島」「越路」「寺泊」「栃尾」「川口」では、「21人以上」に対応可能としている医療機関がある。

図表2-19 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数（地域別）

全体 提供範囲 医療機関所在地	問3 対応可能な在宅患者数(単位:機関数)						合計
	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～人	
①包括なかじま	4	3	5	2	2	3	19
②包括けさじろ	6	5	2	1	3	6	23
③包括ふそき	2	-	-	-	-	-	2
④包括みやうち	-	3	6	-	1	-	10
⑤包括まきやま	3	1	-	1	-	-	5
⑥包括にしながおか	6	9	1	-	1	4	21
⑦中之島	-	-	-	1	-	2	3
⑧越路	-	2	1	-	-	1	4
⑨三島	1	2	-	-	-	-	3
⑩山古志	-	2	1	-	-	-	3
⑪小国	-	-	1	-	-	-	1
⑫和島	-	1	-	-	-	-	1
⑬寺泊	-	1	-	-	-	1	2
⑭栃尾	3	2	-	-	-	2	7
⑮与板	-	1	-	-	-	-	1
⑯川口	-	-	-	-	-	2	2
合計	25	32	17	5	7	21	107

内科・外科標榜 提供範囲 医療機関所在地	問3 対応可能な在宅患者数(単位:機関数)						合計
	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人～	
①包括なかじま	2	3	5	2	2	3	17
②包括けさじろ	4	5	1	1	3	6	20
③包括ふそき	2	-	-	-	-	-	2
④包括みやうち	-	1	6	-	1	-	8
⑤包括まきやま	2	1	-	1	-	-	4
⑥包括にしながおか	3	8	1	-	1	4	17
⑦中之島	-	-	-	1	-	2	3
⑧越路	-	2	1	-	-	1	4
⑨三島	1	2	-	-	-	-	3
⑩山古志	-	2	1	-	-	-	3
⑪小国	-	-	1	-	-	-	1
⑫和島	-	1	-	-	-	-	1
⑬寺泊	-	1	-	-	-	1	2
⑭栃尾	1	2	-	-	-	2	5
⑮与板	-	1	-	-	-	-	1
⑯川口	-	-	-	-	-	2	2
合計	15	29	16	5	7	21	93

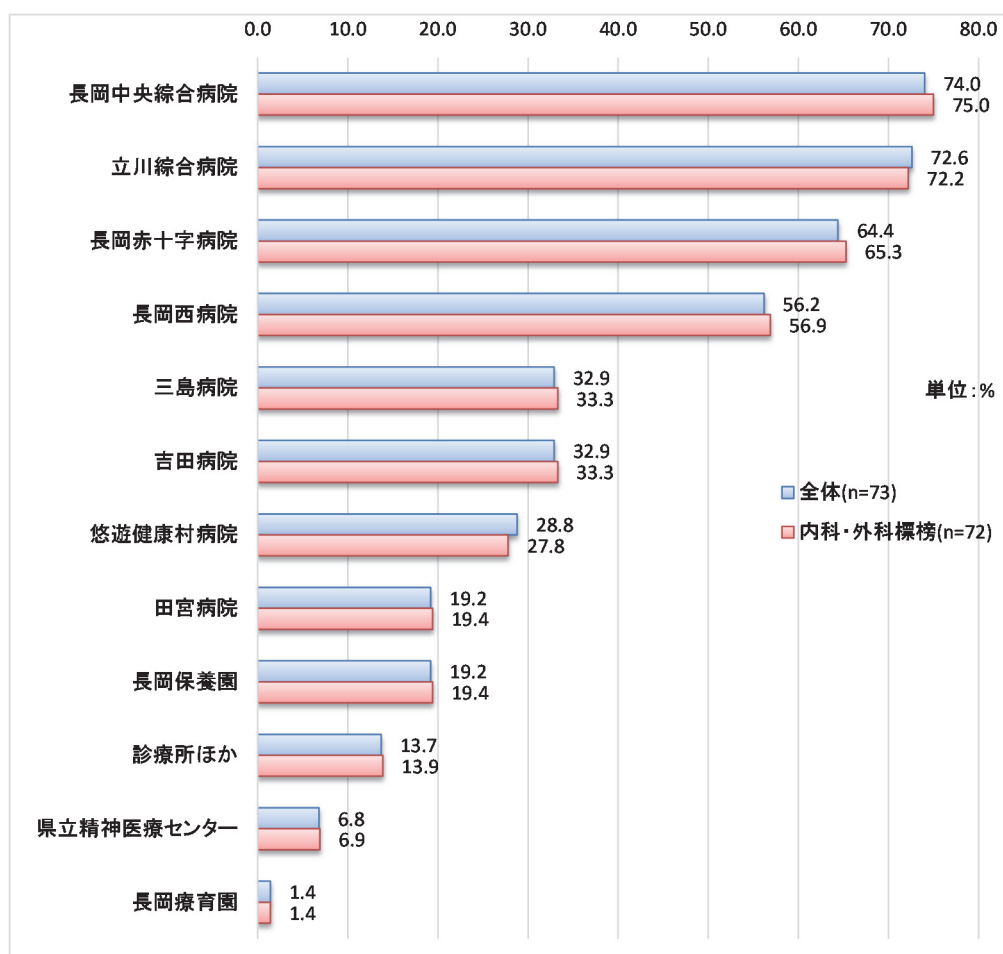
④連携してきた病院・診療所や事業所・施設

1. 病院・診療所

これまでに連携してきた病院・診療所としては、「長岡中央総合病院」が 74.0%で最も多く、「立川総合病院」が 72.6%、「長岡赤十字病院」が 64.4%、「長岡西病院」が 56.2%、「三島病院」と「吉田病院」がともに 32.9%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いはない。

図表 2-20 連携してきた病院・診療所（複数回答）



	件数	全体 (n=73、%)	内科・外科標 榜(件数)	内科・外科標 榜(n=72、%)
長岡中央総合病院	54	74.0	54	75.0
立川総合病院	53	72.6	52	72.2
長岡赤十字病院	47	64.4	47	65.3
長岡西病院	41	56.2	41	56.9
三島病院	24	32.9	24	33.3
吉田病院	24	32.9	24	33.3
悠遊健康村病院	21	28.8	20	27.8
田宮病院	14	19.2	14	19.4
長岡保養園	14	19.2	14	19.4
診療所ほか	10	13.7	10	13.9
県立精神医療センター	5	6.8	5	6.9
長岡療育園	1	1.4	1	1.4

これを医療機関の所在地域別にみると図表 2-21 のとおりである。例えば、「包括なかじま」の医療機関では、「立川総合病院」「長岡赤十字病院」と連携してきた医療機関が 13 機関あり、「長岡中央総合病院」との連携が 12 機関、「長岡西病院」との連携が 11 機関などとなっている。

旧長岡市内の医療機関は、多くの病院・診療所と連携しているが、医療機関数の少ない旧市町村地域の医療機関では、連携先も少なくなっている。

図表 2-21 連携してきた病院・診療所（地域別）

全体		問4.1 連携してきた病院・診療所(単位:件)											
連携先	県立精神医療センター	立川総合病院	田宮病院	長岡中央総合病院	長岡赤十字病院	長岡西病院	長岡保養園	長岡療育園	三島病院	悠遊健康村病院	吉田病院	診療所ほか	合計
①包括なかじま	-	13	2	12	13	11	1	-	5	3	7	-	14
②包括けさじろ	-	13	3	14	8	8	7	-	6	3	8	-	15
③包括ふそき	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	-	1
④包括みやうち	1	6	-	7	5	4	2	1	-	2	2	1	9
⑤包括まきやま	-	2	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	2
⑥包括にしがおか	-	5	4	4	7	7	-	-	2	5	2	3	12
⑦中之島	-	2	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2
⑧越路	-	1	-	4	3	3	-	-	1	1	-	-	4
⑨三島	-	1	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1
⑩山古志	3	3	3	3	3	3	3	-	3	3	3	3	3
⑪小国	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1
⑫和島	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1
⑬寺泊	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑭栃尾	-	3	-	3	2	-	-	-	2	-	1	1	4
⑮与板	-	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	5	53	14	54	47	41	14	1	24	21	24	10	73

内科・外科標榜		問4.1 連携してきた病院・診療所(単位:件)											
連携先	県立精神医療センター	立川総合病院	田宮病院	長岡中央総合病院	長岡赤十字病院	長岡西病院	長岡保養園	長岡療育園	三島病院	悠遊健康村病院	吉田病院	診療所ほか	合計
①包括なかじま	-	13	2	12	13	11	1	-	5	3	7	-	14
②包括けさじろ	-	13	3	14	8	8	7	-	6	3	8	-	15
③包括ふそき	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	-	1
④包括みやうち	1	5	-	7	5	4	2	1	-	1	2	1	8
⑤包括まきやま	-	2	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	2
⑥包括にしがおか	-	5	4	4	7	7	-	-	2	5	2	3	12
⑦中之島	-	2	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2
⑧越路	-	1	-	4	3	3	-	-	1	1	-	-	4
⑨三島	-	1	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1
⑩山古志	3	3	3	3	3	3	3	-	3	3	3	3	3
⑪小国	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1
⑫和島	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1
⑬寺泊	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑭栃尾	-	3	-	3	2	-	-	-	2	-	1	1	4
⑮与板	-	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	5	52	14	54	47	41	14	1	24	20	24	10	72

2. 歯科診療所

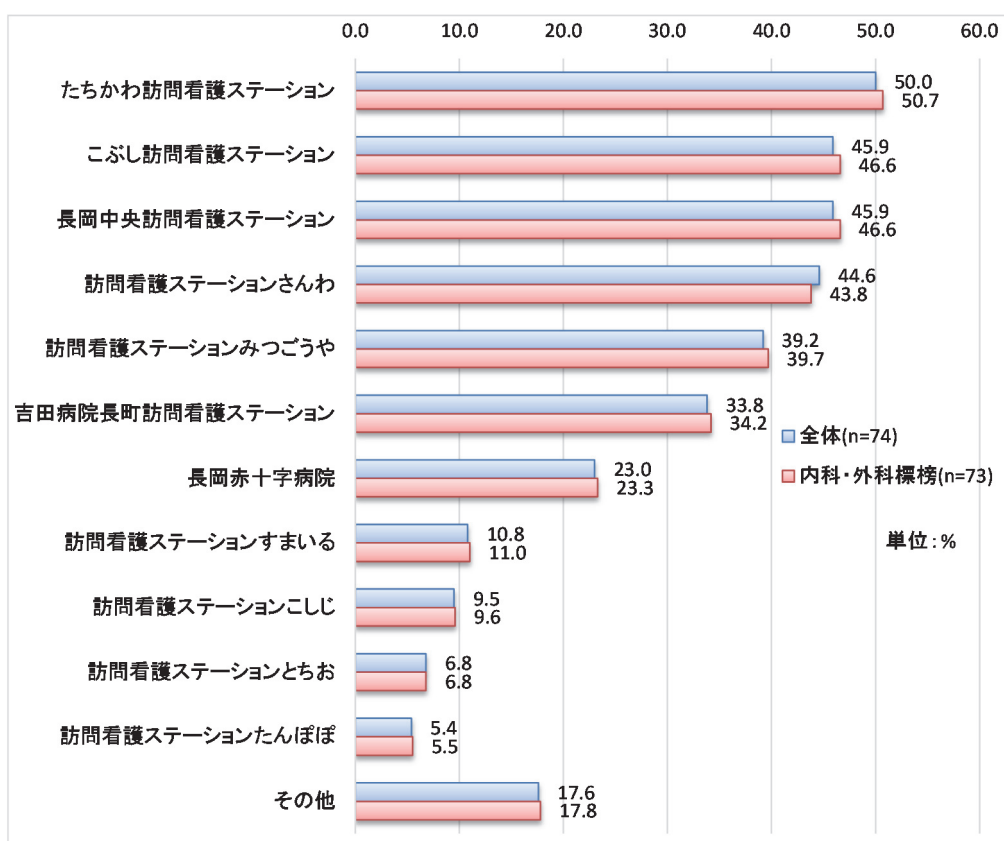
これまでに連携してきた歯科診療所としては、「越後さんとう歯科」が3件、「長岡おとなこども歯科クリニック」「ひまわり歯科」が挙げられていた。

3. 訪問看護ステーション

これまでに連携してきた訪問看護ステーションとしては、「たちかわ訪問看護ステーション」が50.0%で最も多く、「こぶし訪問看護ステーション」と「長岡中央訪問看護ステーション」がともに45.9%、「訪問看護ステーションさんわ」が44.6%、「訪問看護ステーションみつごうや」が39.2%、「吉田病院長町訪問看護ステーション」が33.8%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いは認められない。

図表2-22 連携してきた訪問看護ステーション（複数回答）



	件数	全体 (n=74、%)	内科・外科標 榜(件数)	内科・外科標 榜(n=73、%)
たちかわ訪問看護ステーション	37	50.0	37	50.7
こぶし訪問看護ステーション	34	45.9	34	46.6
長岡中央訪問看護ステーション	34	45.9	34	46.6
訪問看護ステーションさんわ	33	44.6	32	43.8
訪問看護ステーションみつごうや	29	39.2	29	39.7
吉田病院長町訪問看護ステーション	25	33.8	25	34.2
長岡赤十字病院	17	23.0	17	23.3
訪問看護ステーションすまいる	8	10.8	8	11.0
訪問看護ステーションこしじ	7	9.5	7	9.6
訪問看護ステーションとちお	5	6.8	5	6.8
訪問看護ステーションたんぼぼ	4	5.4	4	5.5

医療機関の所在地域別には図表 2-23 のとおりである。例えば、「包括なかじま」の医療機関では、「こぶし訪問看護ステーション」と連携してきた医療機関が 10 機関あり、「たちかわ訪問看護ステーション」「長岡中央訪問看護ステーション」との連携が 8 機関、「訪問看護ステーションさんわ」との連携が 7 機関などとなっている。

図表 2-23 連携してきた訪問看護ステーション（地域別）

全体		問4.3 連携してきた訪問看護ステーション(単位:件)											合計	
連携先	医療機関所在地	こぶし訪問看護ステーション	たちかわ訪問看護ステーション	長岡赤十字病院	長岡中央訪問看護ステーション	訪問看護ステーションこしじ	訪問看護ステーションさんわ	訪問看護ステーションすまいる	訪問看護ステーションたんぼぼ	訪問看護ステーションとちお	訪問看護ステーションみつごうや	吉田病院長岡訪問看護ステーション		その他
①包括なかじま	10	8	6	8	2	7	3	-	-	-	8	6	-	13
②包括けさじろ	7	10	4	13	-	6	4	-	-	-	2	8	-	15
③包括ふそき	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
④包括みやうち	2	3	2	6	-	8	-	3	-	-	1	3	1	9
⑤包括まきやま	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
⑥包括にしながおか	11	8	3	3	2	4	1	1	1	1	11	3	2	14
⑦中之島	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	2
⑧越路	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	3	-	1	4
⑨三島	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	2
⑩山古志	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	3
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
⑫和島	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	4
⑮与板	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
合計	34	37	17	34	7	33	8	4	5	29	25	13	74	

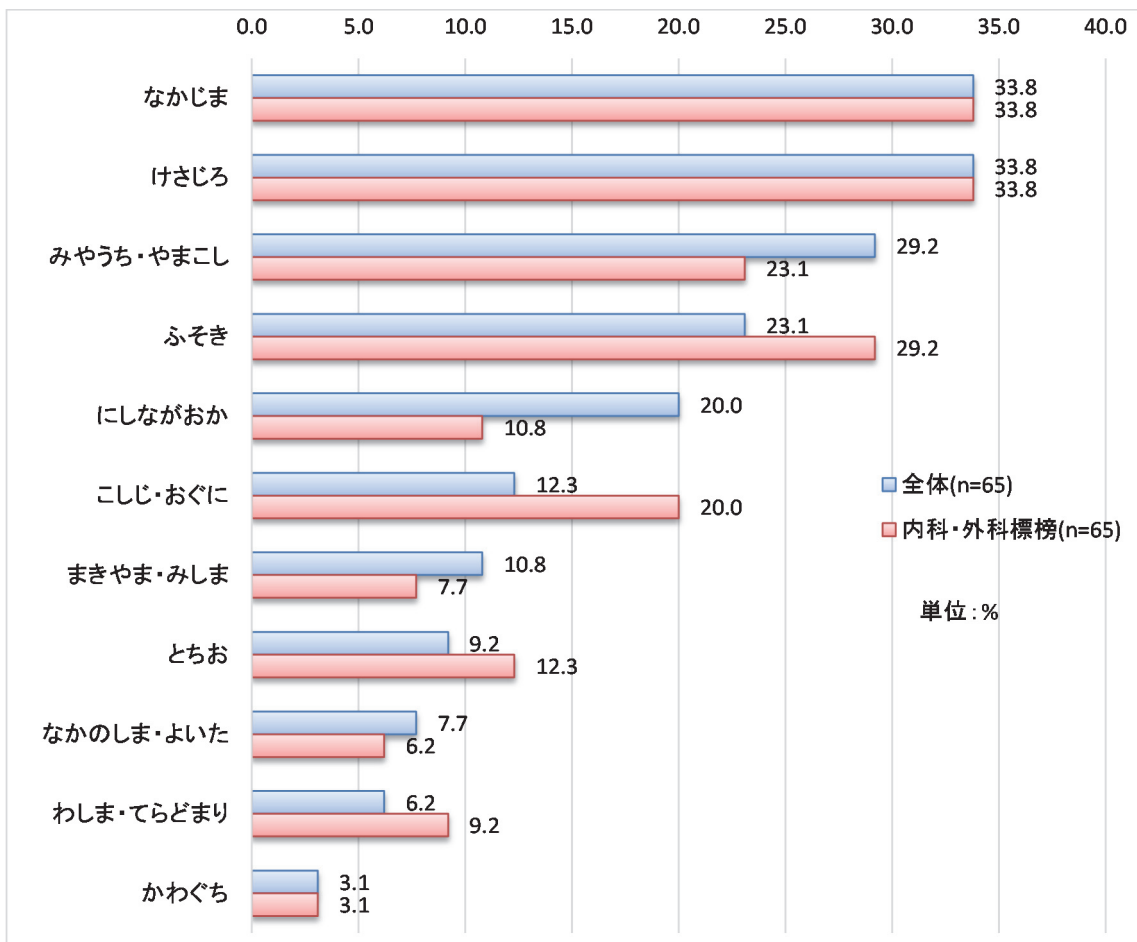
内科・外科標榜		問4.3 連携してきた訪問看護ステーション(単位:件)											合計	
連携先	医療機関所在地	こぶし訪問看護ステーション	たちかわ訪問看護ステーション	長岡赤十字病院	長岡中央訪問看護ステーション	訪問看護ステーションこしじ	訪問看護ステーションさんわ	訪問看護ステーションすまいる	訪問看護ステーションたんぼぼ	訪問看護ステーションとちお	訪問看護ステーションみつごうや	吉田病院長岡訪問看護ステーション		その他
①包括なかじま	10	8	6	8	2	7	3	-	-	-	8	6	-	13
②包括けさじろ	7	10	4	13	-	6	4	-	-	-	2	8	-	15
③包括ふそき	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
④包括みやうち	2	3	2	6	-	7	-	3	-	-	1	3	1	8
⑤包括まきやま	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
⑥包括にしながおか	11	8	3	3	2	4	1	1	1	1	11	3	2	14
⑦中之島	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	2
⑧越路	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	3	-	1	4
⑨三島	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	2
⑩山古志	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	3
⑪小国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
⑫和島	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭栃尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	4
⑮与板	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
⑯川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
合計	34	37	17	34	7	32	8	4	5	29	25	13	73	

4. 地域包括支援センター

これまでに連携してきた地域包括支援センターとしては、「なかじま」と「けさじろ」がともに 33.8%で最も多く、「みやうち・やまこし」が 29.2%、「ふそき」が 23.1%、「こしじ・おぐに」が 12.3%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いは認められない。

図表 2-24 連携してきた地域包括支援センター（複数回答）



	件数	全体 (n=65、%)	内科・外科標 榜(件数)	内科・外科標 榜(n=65、%)
なかじま	22	33.8	22	33.8
けさじろ	22	33.8	22	33.8
みやうち・やまこし	19	29.2	15	23.1
ふそき	15	23.1	19	29.2
にしががおか	13	20.0	7	10.8
こしじ・おぐに	8	12.3	13	20.0
まきやま・みしま	7	10.8	5	7.7
とちお	6	9.2	8	12.3
なかのしま・よいた	5	7.7	4	6.2
わしま・てらどまり	4	6.2	6	9.2
かわぐち	2	3.1	2	3.1

医療機関の所在地域別には図表 2-25 のとおりである。例えば、「包括なかじま」の医療機関では、「なかじま」の地域包括支援センターと連携してきた医療機関が 13 機関あり、「みやうち・やまこし」との連携が 4 機関、「ふそき」との連携が 3 機関などとなっており、「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括にしながおか」などでは、広範囲の連携がみられる。

図表 2-25 連携してきた地域包括支援センター（地域別）

全体		問4.4 連携してきた地域包括支援センター(単位:件)												
連携先		なかじま	けさじろ	ふそき	みやうち・やまこし	まきやま・みしま	にしながおか	なかのしま・よいた	こじい・おぐに	わしま・てらどまり	とちお	かわぐち	その他	合計
①包括なかじま		13	2	3	4	1	2	-	1	-	-	-	-	13
②包括けさじろ		5	15	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	15
③包括ふそき		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
④包括みやうち		1	2	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7
⑤包括まきやま		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
⑥包括にしながおか		3	3	3	2	3	10	2	3	2	2	1	-	10
⑦中之島		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
⑧越路		-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
⑨三島		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
⑩山古志		-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
⑪小国		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
⑫和島		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
⑬寺泊		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑭栃尾		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4
⑮与板		-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
⑯川口		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
合計		22	22	15	19	7	13	5	8	4	6	2	-	65

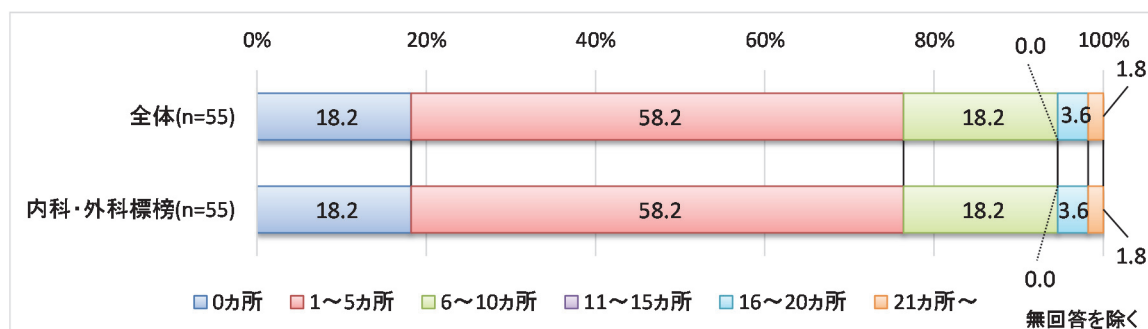
内科・外科標榜		問4.4 連携してきた地域包括支援センター(単位:件)												
連携先		なかじま	けさじろ	ふそき	みやうち・やまこし	まきやま・みしま	にしながおか	なかのしま・よいた	こじい・おぐに	わしま・てらどまり	とちお	かわぐち	その他	合計
①包括なかじま		13	2	3	4	1	2	-	1	-	-	-	-	13
②包括けさじろ		5	15	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	15
③包括ふそき		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
④包括みやうち		1	2	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7
⑤包括まきやま		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
⑥包括にしながおか		3	3	3	2	3	10	2	3	2	2	1	-	10
⑦中之島		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
⑧越路		-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
⑨三島		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
⑩山古志		-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
⑪小国		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
⑫和島		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
⑬寺泊		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑭栃尾		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4
⑮与板		-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
⑯川口		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
合計		22	22	15	19	7	13	5	8	4	6	2	-	65

5. 介護サービス事業所など

ケアマネジャー、入浴サービスや介護用品レンタルなどの事業所など何か所くらい利用しているかについては、「1~5 か所」が 58.2%で最も多く、「0 か所（連携先なし）」と「6~10 か所」がともに 18.2%、「16~20 か所」が 3.6%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても全く同様であった。

図表 2-26 連携してきた介護サービス事業所など



これを医療機関の所在地域別にみると、図表 2-27 のとおりである。旧長岡市内の医療機関では比較的多くの介護サービス事業所との連携がみられる。

図表 2-27 連携してきた介護サービス事業所などの件数（地域別）

全体		問4.5 介護サービス事業所など(単位:件)						
連携先	医療機関所在地	0件	1~5件	6~10件	11~15件	16~20件	21件~	合計
		①包括なかじま	1	6	3	-	1	
②包括けさじろ	1	6	1	-	1	-	9	
③包括ふそき	-	-	-	-	-	-	-	
④包括みやうち	1	6	-	-	-	-	7	
⑤包括まきやま	-	-	-	-	-	-	-	
⑥包括にしながおか	3	5	-	-	-	1	9	
⑦中之島	-	-	1	-	-	-	1	
⑧越路	-	2	1	-	-	-	3	
⑨三島	1	1	-	-	-	-	2	
⑩山古志	-	-	3	-	-	-	3	
⑪小国	-	1	-	-	-	-	1	
⑫和島	-	1	-	-	-	-	1	
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	
⑭栃尾	3	1	1	-	-	-	5	
⑮与板	-	1	-	-	-	-	1	
⑯川口	-	2	-	-	-	-	2	
合計		10	32	10	-	2	1	55

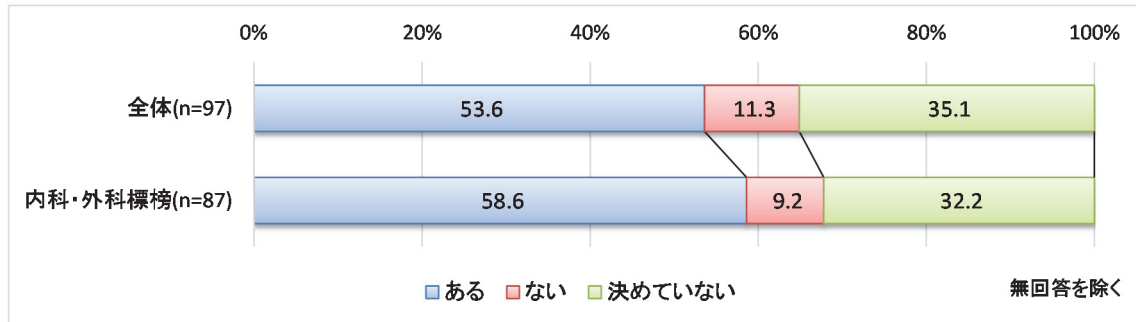
内科・外科標榜		問4.5 介護サービス事業所など(単位:件)						
連携先	医療機関所在地	0件	1~5件	6~10件	11~15件	16~20件	21件~	合計
		①包括なかじま	1	6	3	-	1	
②包括けさじろ	1	6	1	-	1	-	9	
③包括ふそき	-	-	-	-	-	-	-	
④包括みやうち	1	6	-	-	-	-	7	
⑤包括まきやま	-	-	-	-	-	-	-	
⑥包括にしながおか	3	5	-	-	-	1	9	
⑦中之島	-	-	1	-	-	-	1	
⑧越路	-	2	1	-	-	-	3	
⑨三島	1	1	-	-	-	-	2	
⑩山古志	-	-	3	-	-	-	3	
⑪小国	-	1	-	-	-	-	1	
⑫和島	-	1	-	-	-	-	1	
⑬寺泊	-	-	-	-	-	-	-	
⑭栃尾	3	1	1	-	-	-	5	
⑮与板	-	1	-	-	-	-	1	
⑯川口	-	2	-	-	-	-	2	
合計		10	32	10	-	2	1	55

⑤緊急入院が必要となった場合の受入れ先

往診や訪問診療で対応中の患者が、緊急入院が必要となった場合の受入れ先が「ある」とする医療機関は 53.6%で、「決めていない」が 35.1%、「ない」が 11.3%となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみると、「ある」が5ポイント高くなっている。

図表 2-28 緊急入院が必要となった場合の受入れ先



医療機関の所在地域別にみると、図表 2-29 のとおりである。

図表 2-29 緊急入院が必要となった場合の受入れ先（地域別）

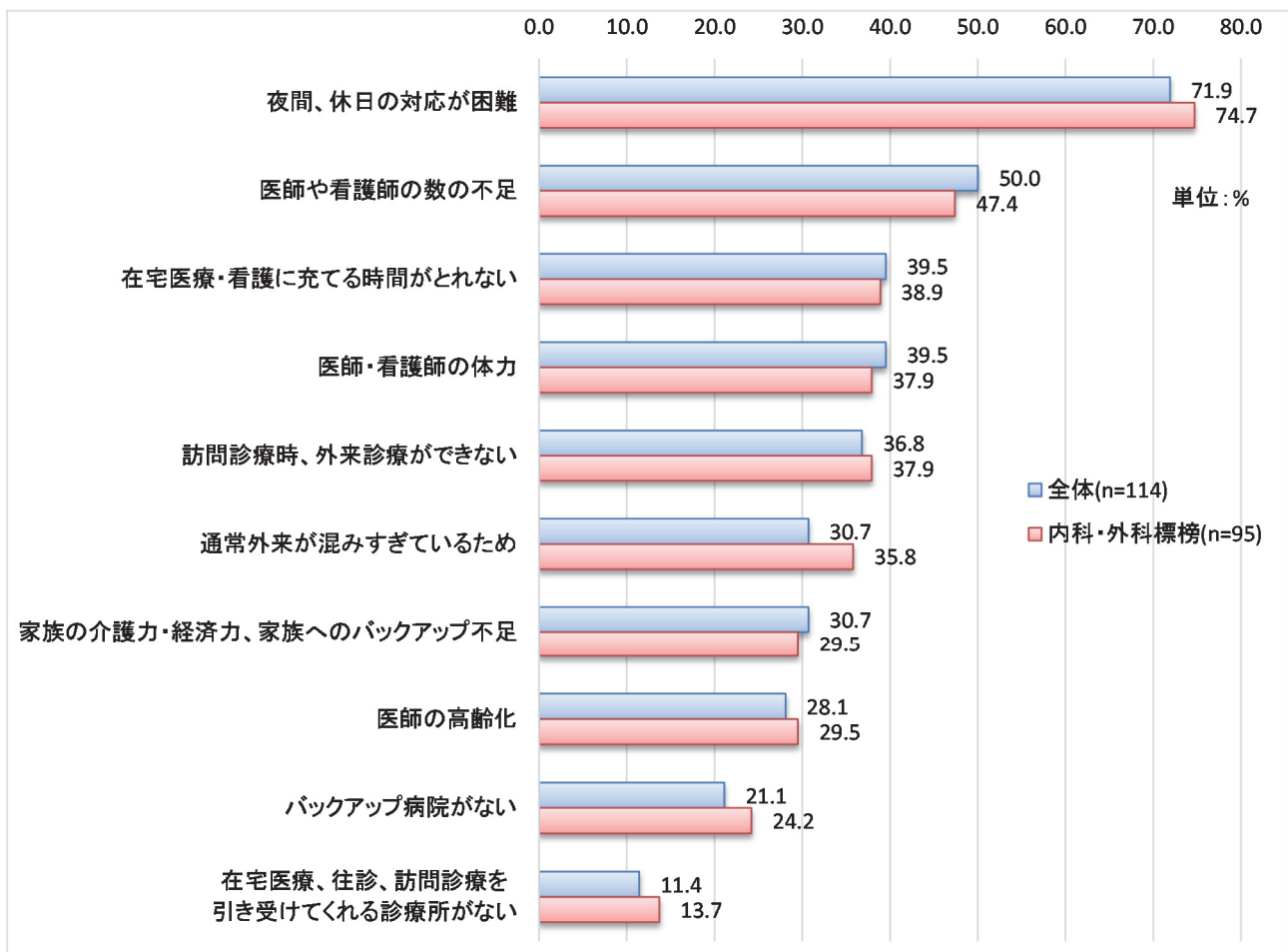
全体 (単位:機関数)	ある	ない	決めて いない	合計	内科・外科標榜 (単位:機関数)	ある	ない	決めて いない	合計
①包括なかじま	10	-	7	17	①包括なかじま	10	-	6	16
②包括けさじろ	8	2	10	20	②包括けさじろ	8	1	8	17
③包括ふそき	1	1	-	2	③包括ふそき	1	1	-	2
④包括みやうち	6	-	3	9	④包括みやうち	5	-	3	8
⑤包括まきやま	1	2	1	4	⑤包括まきやま	1	1	1	3
⑥包括にしながおか	7	3	6	16	⑥包括にしながおか	7	2	4	13
⑦中之島	2	-	-	2	⑦中之島	2	-	-	2
⑧越路	2	-	2	4	⑧越路	2	-	2	4
⑨三島	2	-	-	2	⑨三島	2	-	-	2
⑩山古志	3	-	-	3	⑩山古志	3	-	-	3
⑪小国	1	1	-	2	⑪小国	1	1	-	2
⑫和島	1	-	1	2	⑫和島	1	-	1	2
⑬寺泊	2	-	-	2	⑬寺泊	2	-	-	2
⑭栃尾	3	1	4	8	⑭栃尾	3	1	3	7
⑮与板	1	1	-	2	⑮与板	1	1	-	2
⑯川口	2	-	-	2	⑯川口	2	-	-	2
合計	52	11	34	97	合計	51	8	28	87

⑥在宅医療を始める際の障壁

在宅医療を始める際の障壁としては、「夜間、休日の対応が困難」が71.9%で最も多く、「医師や看護師の数の不足」が50.0%、「在宅医療・看護に充てる時間がとれない」と「医師・看護師の体力」がともに39.5%、「訪問診療時、外来診療ができない」が36.8%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いは認められない。

図表2-30 在宅医療を始める際の障壁



医療機関の所在地域別にみると、図表 2-31 のとおりである。

図表 2-31 在宅医療を始める際の障壁（地域別）

全体	問6 在宅医療を始める際の障壁(上段:機関数/下段:%)											
	医師や看護師の数の不足	夜間、休日の対応が困難	通常外来が混みすぎているため	バックアップ病院がない	在宅医療、往診、訪問診療を引き受けてくれる診療所がない	医師の高齢化	家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足	在宅医療・看護に充てる時間がとれない	医師・看護師の体力	訪問診療時、外来診療ができない	その他	合計
①包括なかじま	8 40.0	12 60.0	5 25.0	-	2 10.0	4 20.0	8 40.0	9 45.0	7 35.0	8 40.0	1 5.0	20 100.0
②包括けさじろ	15 53.6	20 71.4	8 28.6	7 25.0	1 3.6	8 28.6	5 17.9	11 39.3	9 32.1	12 42.9	1 3.6	28 100.0
③包括ふそき	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-	-	3 100.0
④包括みやうち	6 54.5	10 90.9	5 45.5	1 9.1	-	4 36.4	4 36.4	3 27.3	3 27.3	4 36.4	1 9.1	11 100.0
⑤包括まきやま	1 25.0	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	2 50.0	-	2 50.0	3 75.0	2 50.0	-	4 100.0
⑥包括しながおか	10 52.6	14 73.7	5 26.3	6 31.6	5 26.3	4 21.1	5 26.3	12 63.2	9 47.4	8 42.1	3 15.8	19 100.0
⑦中之島	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	3 100.0
⑧越路	2 40.0	3 60.0	3 60.0	-	-	-	-	1 20.0	4 80.0	1 20.0	-	5 100.0
⑨三島	2 66.7	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	3 100.0
⑩山古志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪小国	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	2 100.0
⑫和島	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0
⑬寺泊	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0
⑭板尾	7 70.0	7 70.0	2 20.0	3 30.0	-	5 50.0	4 40.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	-	10 100.0
⑮与板	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0
⑯川口	-	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	-	1 50.0	-	-	2 100.0
合計	57 50.0	82 71.9	35 30.7	24 21.1	13 11.4	32 28.1	35 30.7	45 39.5	45 39.5	42 36.8	9 7.9	114 100.0

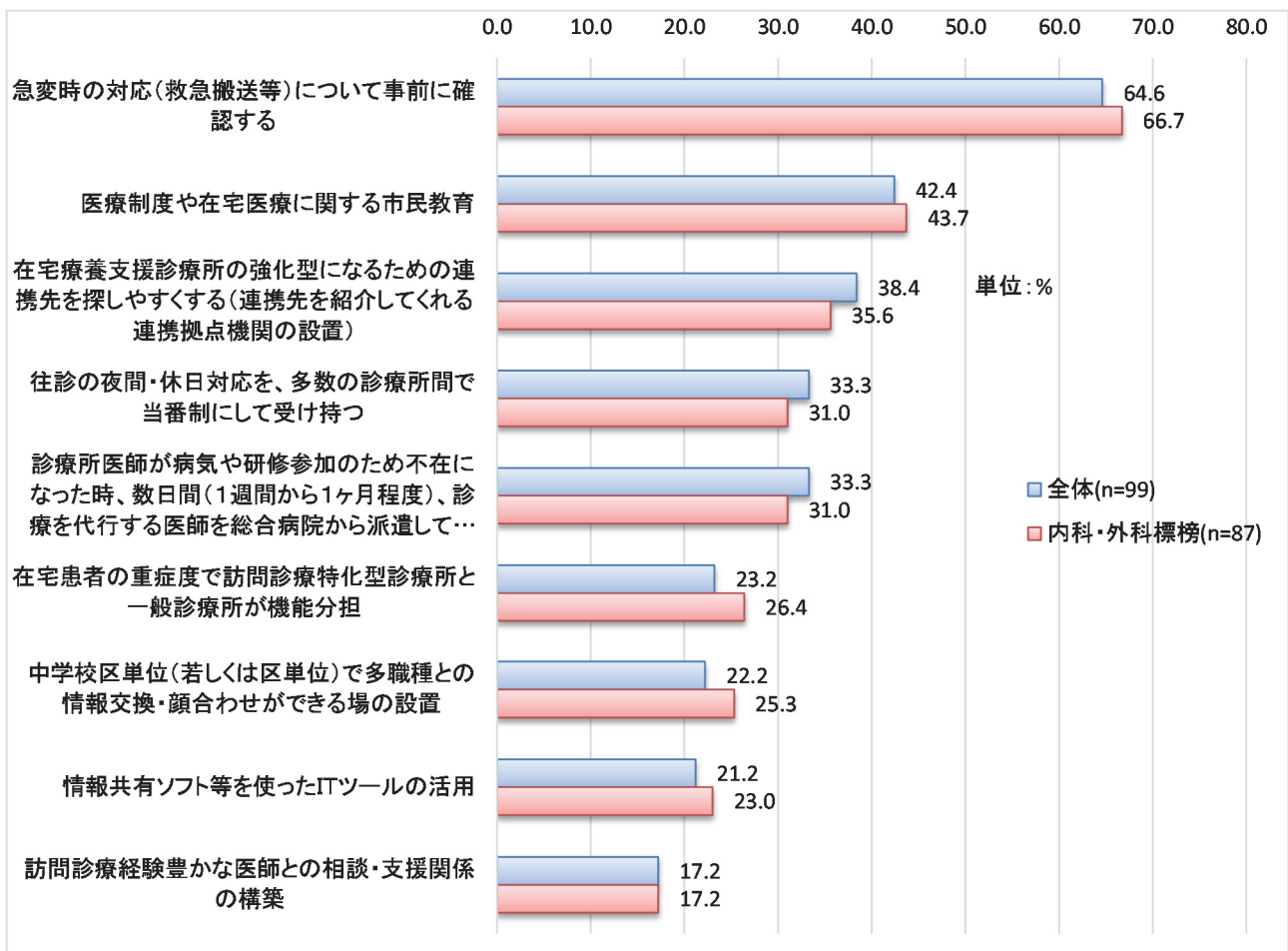
内科・外科標榜	問6 在宅医療を始める際の障壁(上段:機関数/下段:%)											
	医師や看護師の数の不足	夜間、休日の対応が困難	通常外来が混みすぎているため	バックアップ病院がない	在宅医療、往診、訪問診療を引き受けてくれる診療所がない	医師の高齢化	家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足	在宅医療・看護に充てる時間がとれない	医師・看護師の体力	訪問診療時、外来診療ができない	その他	合計
①包括なかじま	7 41.2	11 64.7	4 23.5	-	2 11.8	3 17.6	8 47.1	7 41.2	6 35.3	6 35.3	1 5.9	17 100.0
②包括けさじろ	12 54.5	17 77.3	6 27.3	7 31.8	1 4.5	6 27.3	5 22.7	8 36.4	6 27.3	10 45.5	-	22 100.0
③包括ふそき	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-	-	3 100.0
④包括みやうち	5 50.0	9 90.0	4 40.0	1 10.0	-	4 40.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	10 100.0
⑤包括まきやま	1 33.3	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	2 66.7	-	2 66.7	2 66.7	2 66.7	-	3 100.0
⑥包括しながおか	7 46.7	11 73.3	3 20.0	5 33.3	5 33.3	4 26.7	5 33.3	8 53.3	6 40.0	6 40.0	1 6.7	15 100.0
⑦中之島	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	3 100.0
⑧越路	1 25.0	2 50.0	3 75.0	-	-	-	-	1 25.0	4 100.0	1 25.0	-	4 100.0
⑨三島	2 66.7	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	3 100.0
⑩山古志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪小国	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	2 100.0
⑫和島	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0
⑬寺泊	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0
⑭板尾	4 57.1	6 85.7	2 28.6	3 42.9	-	4 57.1	3 42.9	4 57.1	3 42.9	3 42.9	-	7 100.0
⑮与板	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0
⑯川口	-	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	-	1 50.0	-	-	2 100.0
合計	45 47.4	71 74.7	28 29.5	23 24.2	13 13.7	28 29.5	34 35.8	36 37.9	37 38.9	36 37.9	6 6.3	95 100.0

⑦在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組

在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組としては、「急変時の対応（救急搬送等）について事前に確認する」が 64.6%で最も多く、「医療制度や在宅医療に関する市民教育」が 42.4%、「在宅療養支援診療所の強化型になるための連携先を探しやすくする（連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置）」が 38.4%、「往診の夜間・休日対応を、多数の診療所間で当番制にして受け持つ」と「診療所医師が病気や研修参加のため不在になった時、数日間（1週間から1か月程度）診療を代行する医師を総合病院から派遣してもらえる体制」がともに 33.3%などの順となっている。

これを「内科・外科」を標榜している医療機関について絞ってみても傾向にあまり大きな違いは認められない。

図表 2-3-2 在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組



医療機関の所在地域別にみると図表 2-33 のとおりである。

図表 2-33 在宅医療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組(地域別)

全体	問7 負担軽減・円滑な遂行に有効な取組み(上段:機関数/下段:%)										合計
	在宅療養支援診療所の強化型になるための連携先を探索しやすくなる(連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置)	往診の夜間・休日対応を、多数の診療所間で当番制にして受け持つ	急変時の対応(救急搬送等)について事前に確認する	診療所医師が病気や研修参加のため不在になった時、数日間(1週間から1ヶ月程度)、診療を代行する医師を総合病院から派遣してもらえる体制	在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担	訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築	中学校区単位(若しくは区単位)で多職種との情報交換・顔合わせができる場の設置	情報共有ソフト等を使ったITツールの活用	医療制度や在宅医療に関する市民教育		
①包括なかじま	5 25.0	5 25.0	12 60.0	5 25.0	3 15.0	1 5.0	5 25.0	5 25.0	9 45.0	20 100.0	
②包括けさじろ	9 45.0	7 35.0	15 75.0	6 30.0	5 25.0	6 30.0	6 30.0	4 20.0	9 45.0	20 100.0	
③包括ふそき	2 66.7	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	3 100.0	
④包括みやうち	4 36.4	5 45.5	10 90.9	5 45.5	3 27.3	2 18.2	2 18.2	2 18.2	3 27.3	11 100.0	
⑤包括まきやま	3 100.0	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	3 100.0	
⑥包括しながおか	3 20.0	3 20.0	9 60.0	5 33.3	5 33.3	4 26.7	3 20.0	4 26.7	9 60.0	15 100.0	
⑦中之島	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	2 100.0	
⑧越路	-	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	5 100.0	
⑨三島	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100.0	
⑩山古志	3 100.0	3 100.0	3 100.0	-	3 100.0	-	3 100.0	3 100.0	-	3 100.0	
⑪小国	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	2 100.0	
⑫和島	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	
⑬寺泊	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	
⑭板尾	4 50.0	3 37.5	3 37.5	5 62.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	8 100.0	
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
⑯川口	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	2 100.0	
合計	38.4 38.4	33.3 33.3	64.6 64.6	33.3 33.3	23.2 23.2	17.2 17.2	22.2 22.2	21.2 21.2	42.4 42.4	100.0 100.0	

内科・外科標榜	問7 負担軽減・円滑な遂行に有効な取組み(上段:機関数/下段:%)										合計
	在宅療養支援診療所の強化型になるための連携先を探索しやすくなる(連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置)	往診の夜間・休日対応を、多数の診療所間で当番制にして受け持つ	急変時の対応(救急搬送等)について事前に確認する	診療所医師が病気や研修参加のため不在になった時、数日間(1週間から1ヶ月程度)、診療を代行する医師を総合病院から派遣してもらえる体制	在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担	訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築	中学校区単位(若しくは区単位)で多職種との情報交換・顔合わせができる場の設置	情報共有ソフト等を使ったITツールの活用	医療制度や在宅医療に関する市民教育		
①包括なかじま	4 23.5	3 17.6	12 70.6	3 17.6	3 17.6	1 5.9	5 29.4	5 29.4	9 52.9	17 100.0	
②包括けさじろ	7 38.9	6 33.3	14 77.8	5 27.8	5 27.8	5 27.8	6 33.3	3 16.7	7 38.9	18 100.0	
③包括ふそき	2 66.7	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	3 100.0	
④包括みやうち	3 30.0	5 50.0	9 90.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	10 100.0	
⑤包括まきやま	3 100.0	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	3 100.0	
⑥包括しながおか	2 15.4	2 15.4	8 61.5	4 30.8	5 38.5	3 23.1	3 23.1	4 30.8	8 61.5	13 100.0	
⑦中之島	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	2 100.0	
⑧越路	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	4 100.0	
⑨三島	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100.0	
⑩山古志	3 100.0	3 100.0	3 100.0	-	3 100.0	-	3 100.0	3 100.0	-	3 100.0	
⑪小国	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	2 100.0	
⑫和島	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	
⑬寺泊	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	
⑭板尾	2 40.0	2 40.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	5 100.0	
⑮与板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
⑯川口	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	2 100.0	
合計	31 35.6	27 31.0	58 66.7	27 31.0	23 26.4	15 17.2	22 25.3	20 23.0	38 43.7	87 100.0	

⑧在宅医療に対する行政の支援等に対する意見

在宅医療に対する行政の支援等に関する自由意見をみると、在宅医療に関しては、「市民に対する普及・啓発などの情報発信が重要」や「バックアップ体制の整備」「関連機関間の連携強化」などといった意見が多くなっている。

具体的には、以下のような意見が寄せられた。

<教育・啓発の必要性について>

市民教育、在宅医の教育。開業医の先生がどんな人でも在宅で可能と考えてほしい。
医療機関の体制として医師不足（訪問診療可能な）が挙げられるが、市民教育の普及は是非必要だ。「医療機関側が訪問するので自宅で介護を」と勧めても受入れに戸惑われるケースが多いためである。
在宅医療について一般市民に対する説明の場を作ってほしい。
いずれ来る「死」をどう受けとめ、どう「生きたいか」「死にたいか」をオープンに話す場があればと思う。死＝病院というイメージが強すぎるし、求める医療も大き過ぎる。死を受入れる教育が必要。病院に高齢者用ベッドの確保があれば急性期のみお願い出来ると思う。
家で死すことを普通であるとする教育が必要である。
多くの方が終末期について考えないようにしているのが現実。老老介護や訪問診療の意義について（例えば往診と訪問診療の違いについて）、告知や教育が必要と思う。そうでないと病院の救急外来がパンクすると思う。

<在宅医療取組の困難さ>

当院は既に限界に達しており、これ以上の負担増は厳しい。特に遠方の往診紹介（病院から）は辛い。
現在十分に在宅・施設を抱えているため、他の地域の患者を診るのは厳しい。在宅・往診少ない医師に参加して欲しい。
現実には対応可能な家庭が少なくなっている印象を受ける。

<バックアップ体制・急変時の受入れについて>

急変でどうしても入院が必要になる場合、バックアップとして入院などをさせてくれる病院の確保が難しい。拠点等を整備してほしい。
一人の在宅患者に対して急変時の受入れ先が明確になっていることが大切と思われる。
現在バックアップ病院がないため、訪問診療時にかなりストレスになっている。バックアップ病院と訪問看護ステーションは在宅医療の両輪と考える。在宅を進めていくのであるなら、郷診療所を存続させてほしい。
介護施設の充実：デイサービスやショートステイなど、必要な時に活用できるようにしてほしい。また、介護相談員、地域包括支援センターの拡充や診療所医師や家族が困ったときに受入れてくれる病院の充実を望む。

<制度・体制について>

高齢者の独居世帯に包括と社会福祉協議会の連携支援の拡大が必要である。
終末期医療をどこまで行うかが課題である。
外来診療を中心に行いながら在宅医療（訪問診療）をストレス少なく行える体制の構築。在宅主治医・副主治医制に対する支援が必要である。
県立精神医療センターの機能をまずは以前の状態にまで戻してほしい。
積極的に対応したい。患者さんを引き受ける入口の体制作りをしてほしい。

<在宅医療に対する行政からの支援の要望>

ケアにおける政策立案は制度にとらわれず住民の生活を起点にした上で、住民や地域の課題を解決する政策を考える必要がある。市町村が独自の政策を展開することが大切と考える。
仕事を辞めて在宅で介護に当たる場合の支援をしてほしい。
一律に決めることはできないので、在宅医療を希望する人の相談に乗ってほしい。

2 ケアマネジャー向けアンケート調査

(1) アンケート調査方法

【調査対象】長岡市在住の要介護高齢者の利用する地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所

96 事業所（利用者 7,769 人）

※長岡市外の事業所は長岡市在住利用者が 3 人以上であった場合のみ調査対象に含む。

【調査時期】平成 26 年 7 月 30 日発送、9 月 24 日まで回収

【調査方法】郵送による配布・回収

【調査項目】次ページ調査票参照

【回収事業所数】

95 事業所（利用者 7,690 人）

< 事業所回収率 98.96%（利用者回収率 98.98%） >

【サービスの分類】本アンケート調査では、37 種類のサービスについて質問しているが、集計に当たっては、8 種類に分類している。その内訳は以下のとおりである。

〈 サービスの分類 〉

分類	サービス
(1) 訪問系サービス (訪問)	1 訪問介護
	2 訪問入浴介護
	4 訪問リハビリテーション
	10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
	11 夜間対応型訪問介護
(2) 通所系サービス (通い)	5 通所介護
	6 通所リハビリテーション
	12 認知症対応型通所介護
(3) 短期入所系サービス (ショート)	7 短期入所生活介護
	8 短期入所療養介護
(4) 訪問看護 (訪問看護)	3 訪問看護
(5) パッケージ型サービス (訪問・通い・ショートの組み合わせ)	13 小規模多機能型居宅介護
	14 複合型サービス
(6) 居宅療養管理指導 (専門職)	15 訪問での薬剤管理指導
	16 訪問での栄養食事指導
	17 訪問での歯科診療
	18 訪問での歯科衛生指導
(7) 居住系サービス (居住サービス)	19 認知症グループホーム
	20 その他の居住系施設サービス
(8) 特別な医療 (特別な医療)	21 点滴の管理
	22 気管切開の処置
	23 レスピレーター
	24 モニター測定
	25 カテーテル類
	26 中心静脈栄養
	27 人工透析
	28 褥瘡の処置
	29 ストーマの処置
	30 経管栄養
	31 酸素療法
	32 抗凝固療法
	33 認知症対応・介護指導
	34 喀痰吸引
	35 インスリン注射
36 疼痛緩和ケア	
37 終末期の対応・在宅での看取り	
地域分析対象外	9 福祉用具貸与

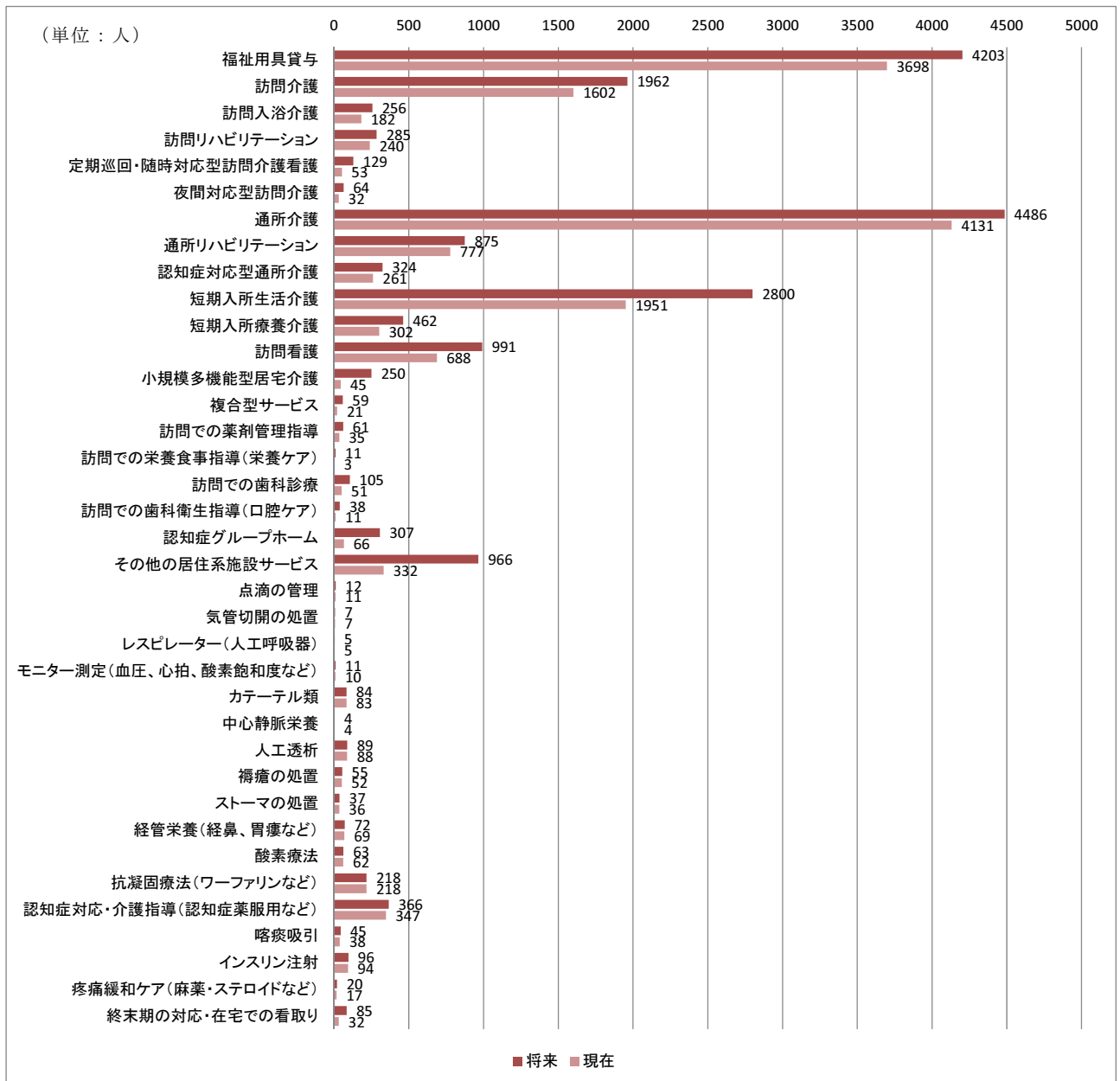
(3) アンケート調査結果

長岡市内のケアマネジャーを対象としたアンケート調査から、介護に関するニーズについて現状と将来の見込みをみる。

①37 分類別の状況（全地域）

「通所介護」が最も多く、現在の 4,131 人が 4,486 人に（8.6%）増加するとなっており、次いで「福祉用具貸与」が 3,698 人から 4,203 人に（13.7%）増加し、「短期入所生活介護」が 1,951 人から 2,800 人に（14.4%）増加するなどとなっている。

図表 2-3-4 長岡市における介護・医療サービスのニーズ（37 分類）



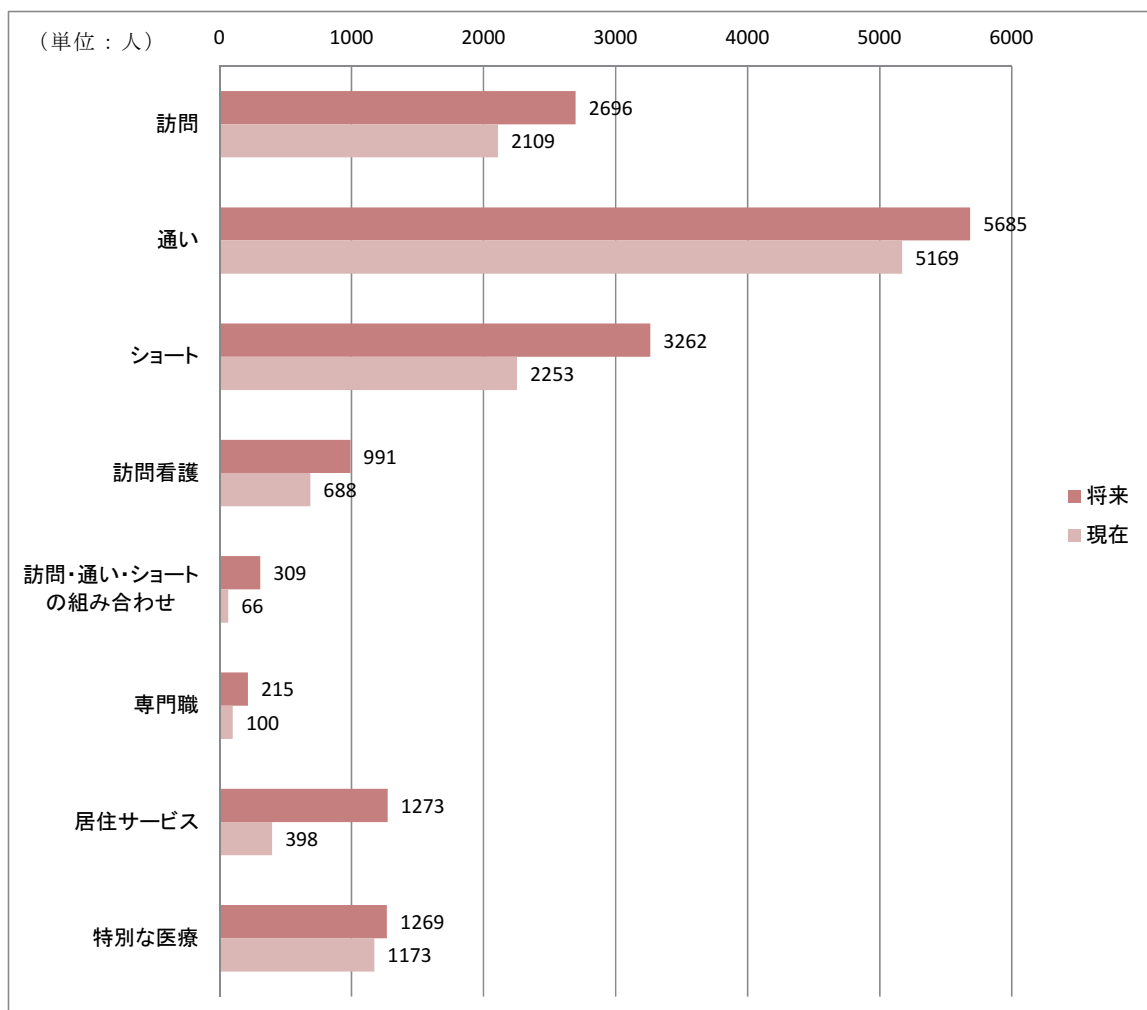
※凡例中の「将来」は、「現在利用中又は計画中であり、今後も必要と思われるサービス」から「現在利用中又は計画中だが今後必要なくなると思われるサービス」を差し引き、「現在は必要ではないが、今後必要になると思われるサービス」を加えた件数（以下同様）。

② 8分類の状況

①の37のサービスについて、8種類（訪問、通い、ショート、訪問看護、訪問・通い・ショートの組み合わせ、専門職、居住サービス、特別な医療）に分類してみると以下のとおりである。

- ・ 訪問：現在の2,109人から将来は2,696人に（27.8%）増加すると思われる。
- ・ 通い：現在の5,169人から将来は5,685人に（10.0%）増加すると思われる。
- ・ ショート：現在の2,253人から将来は3,262人に（44.8%）増加すると思われる。
- ・ 訪問看護：現在の688人から将来は991人に（44.0%）増加すると思われる。
- ・ 訪問・通い・ショートの組み合わせ：現在の66人から将来は309人に（368.2%）増加すると思われる。
- ・ 専門職（理学療法士、作業療法士、薬剤師、歯科衛生士等）：現在の100人から将来は215人に（115.0%）増加すると思われる。
- ・ 居住サービス：現在の398人から将来は1,273人に（219.8%）増加すると思われる。
- ・ 特別な医療：現在の1,173人から将来は1,269人に（8.2%）増加すると思われる。

図表2-35 長岡市における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



③地域別の8分類の状況

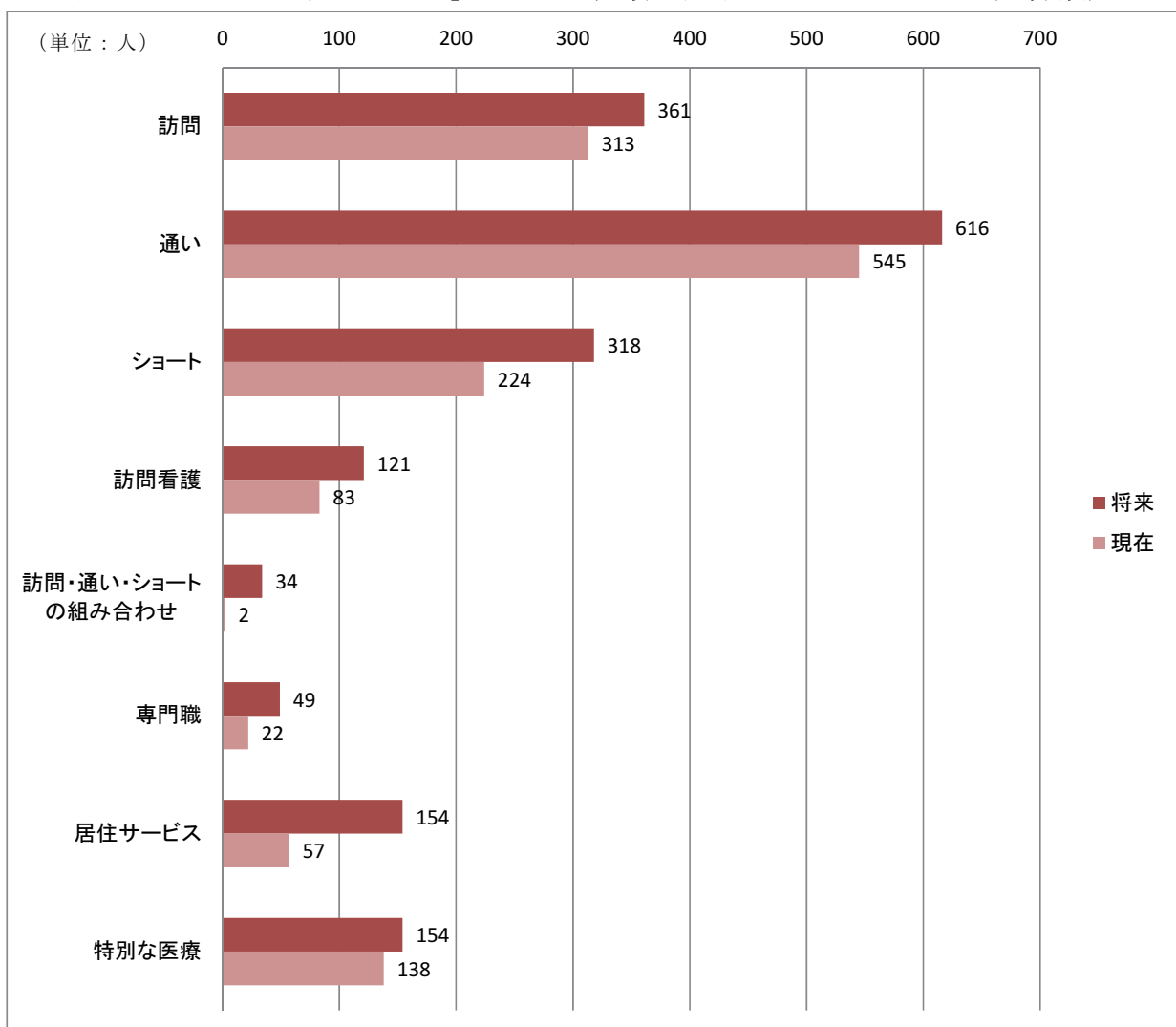
包括エリア別に8分類のサービスについてみると以下のとおりである。

なお、「福祉用具貸与」については地域別にみることに有意性がないため、対象外としている。

1. 包括なかじま

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が616人、「訪問」が361人、「ショート」が318人などとなっている。

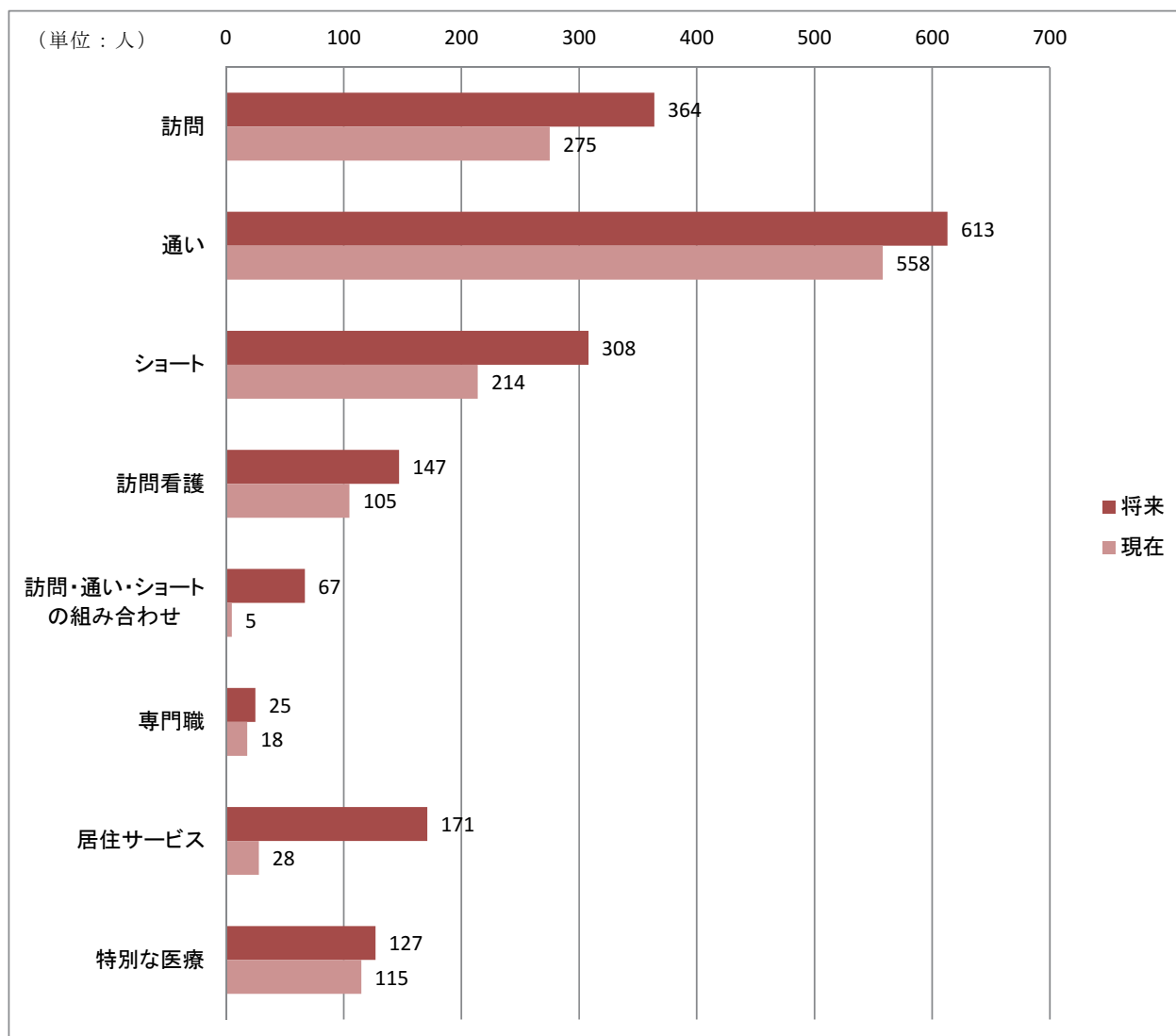
図表2-36 「包括なかじま」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



2. 包括けさじろ

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が613人、「訪問」が364人、「ショート」が308人などとなっている。

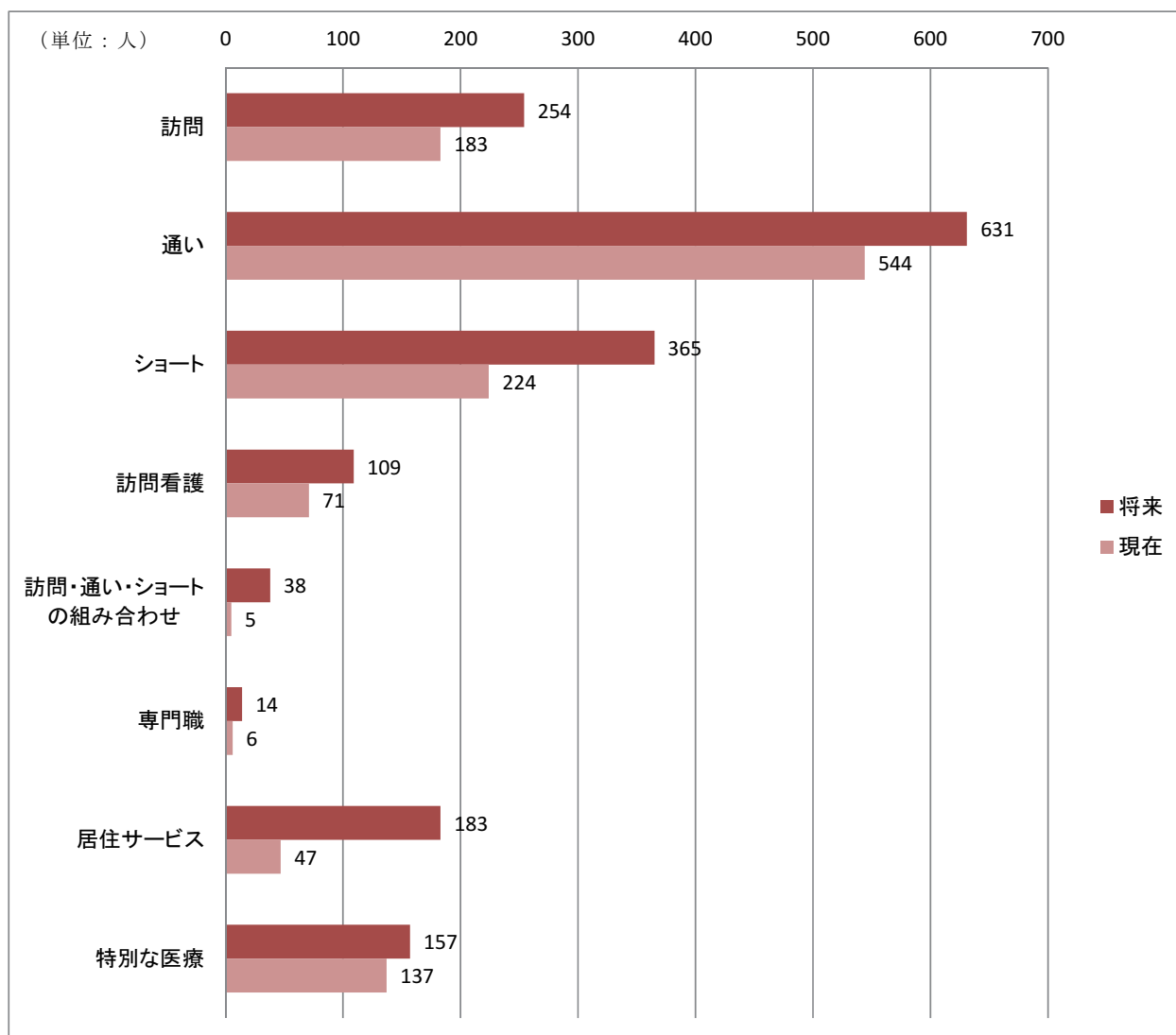
図表 2-37 「包括けさじろ」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



3. ふそき

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が631人、「ショート」が365人、「訪問」が254人などとなっている。

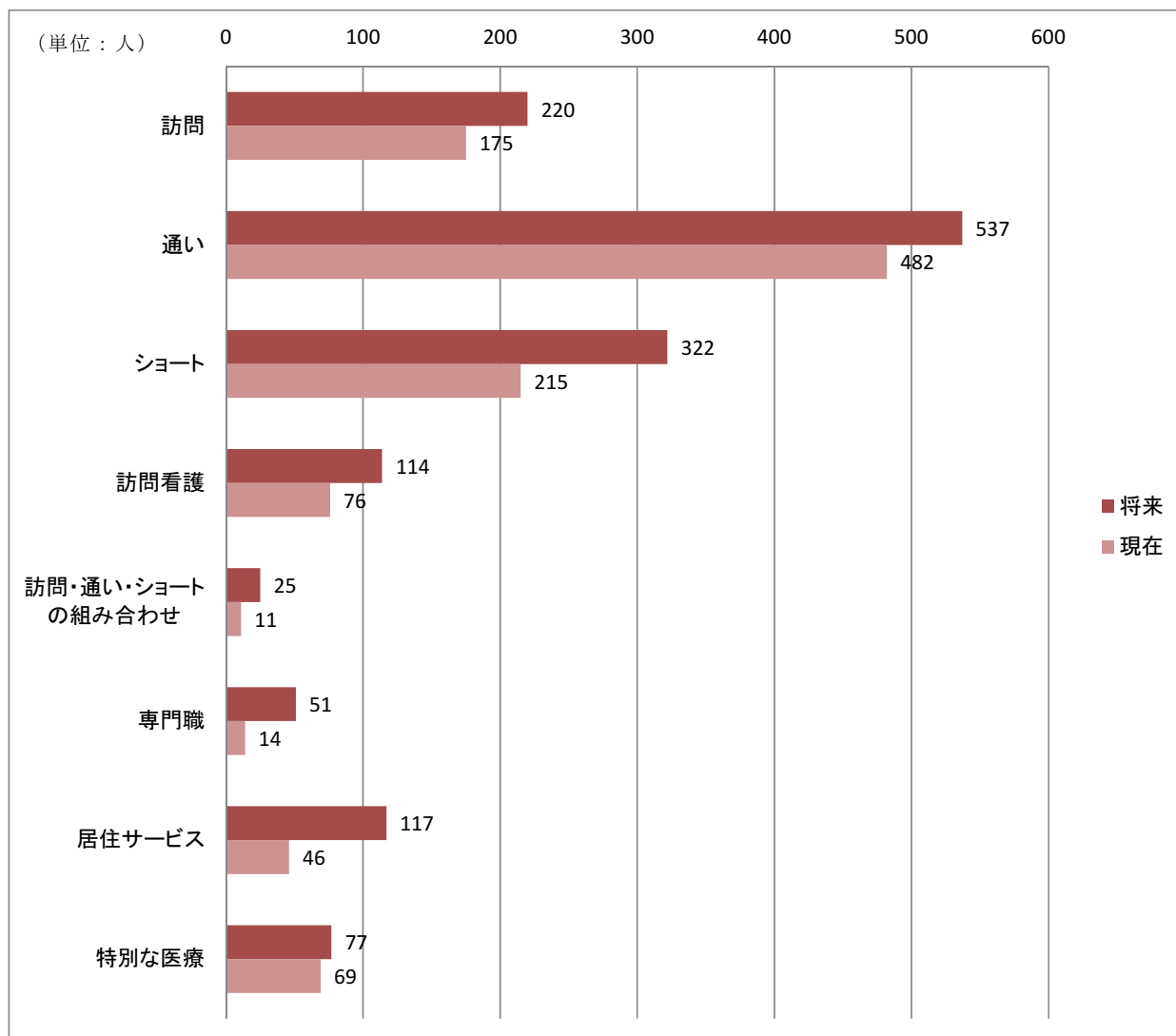
図表 2-38 「包括ふそき」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



4. 包括みやうち

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が537人、「ショート」が322人、「訪問」が220人などとなっている。

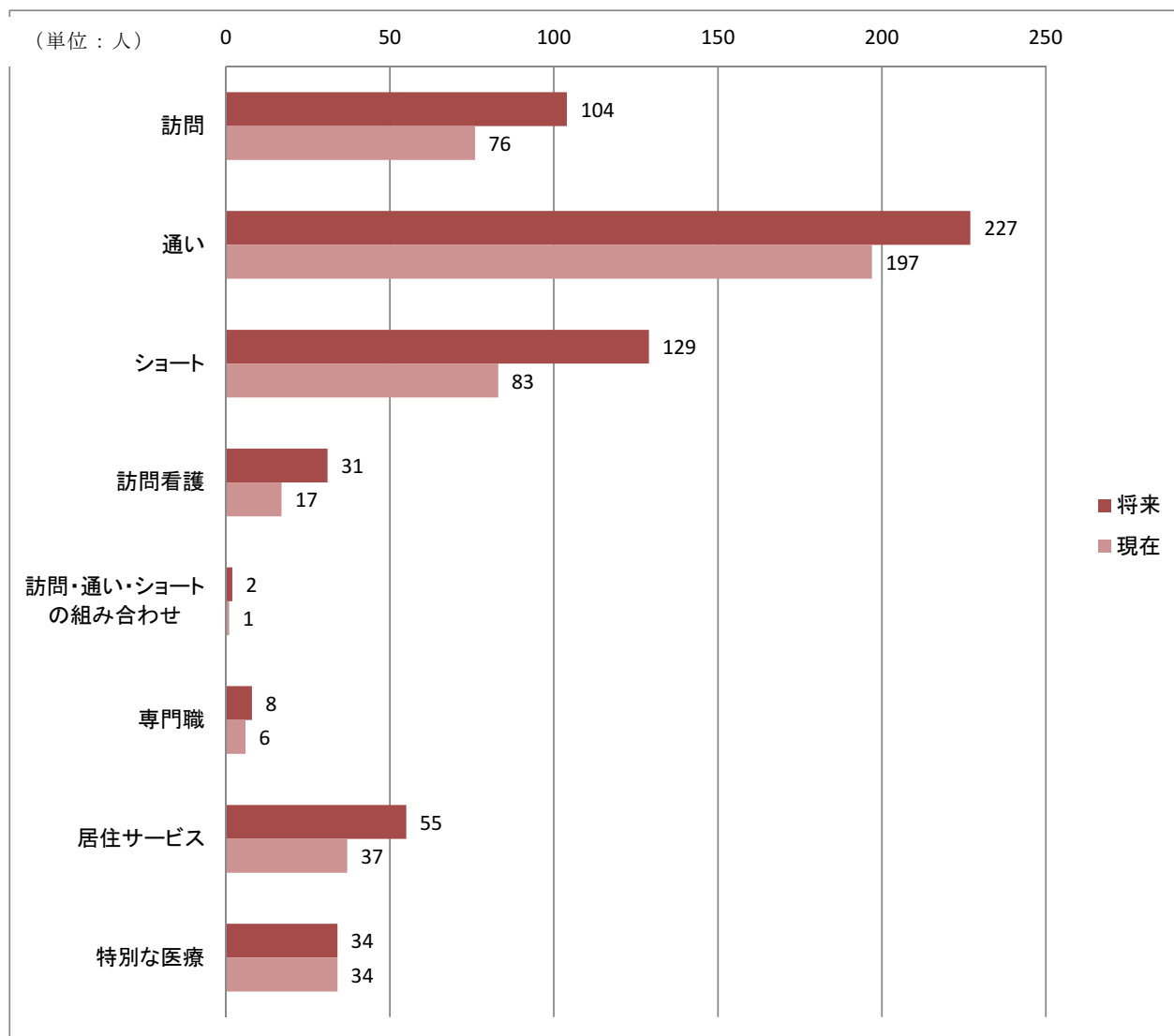
図表 2-39 「包括みやうち」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



5. 包括まきやま

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が227人、「ショート」が129人、「訪問」が104人などとなっている。

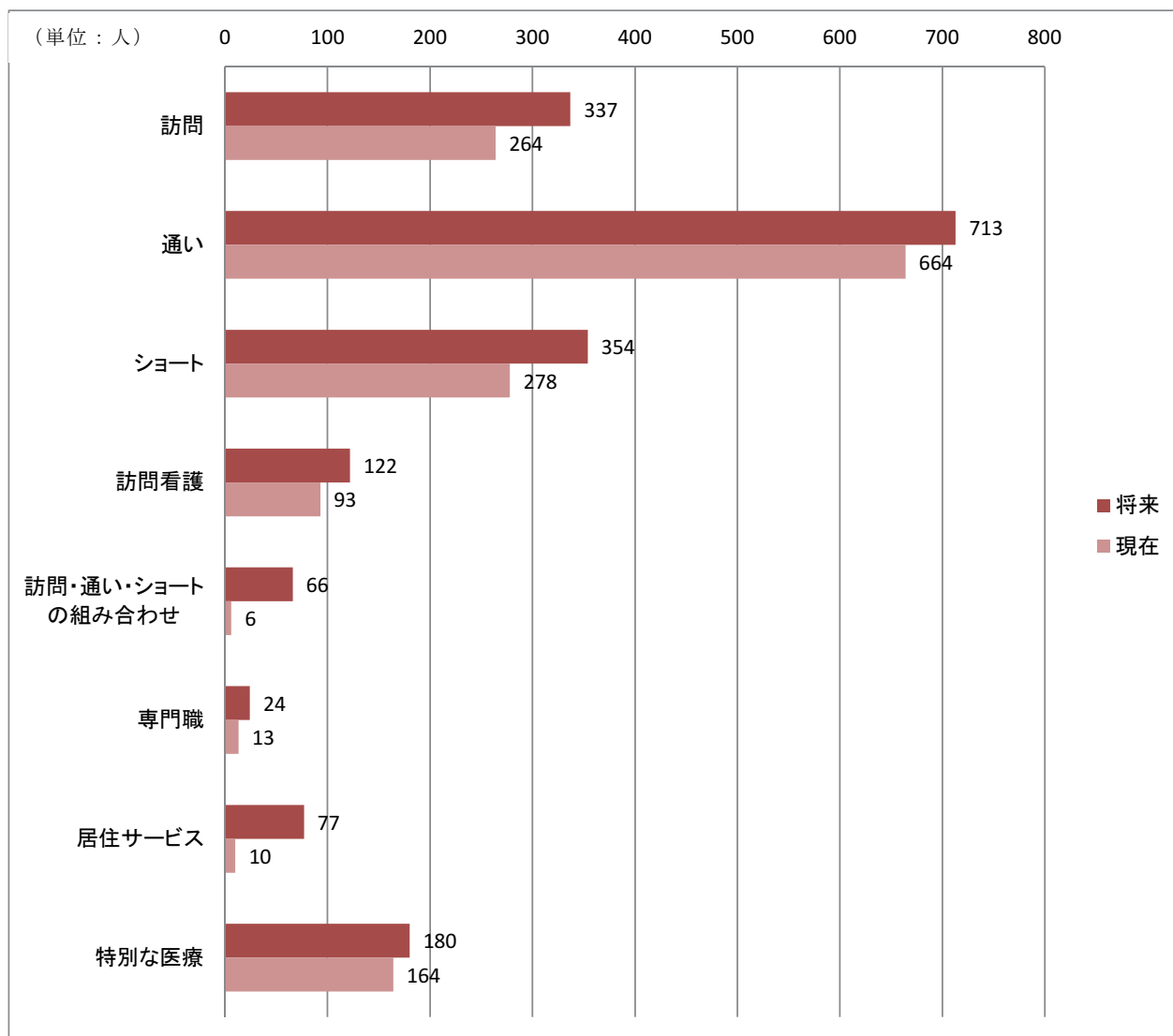
図表2-40 「包括まきやま」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



6. 包括にしながらおか

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が713人、「ショート」が354人、「訪問」が337人などとなっている。

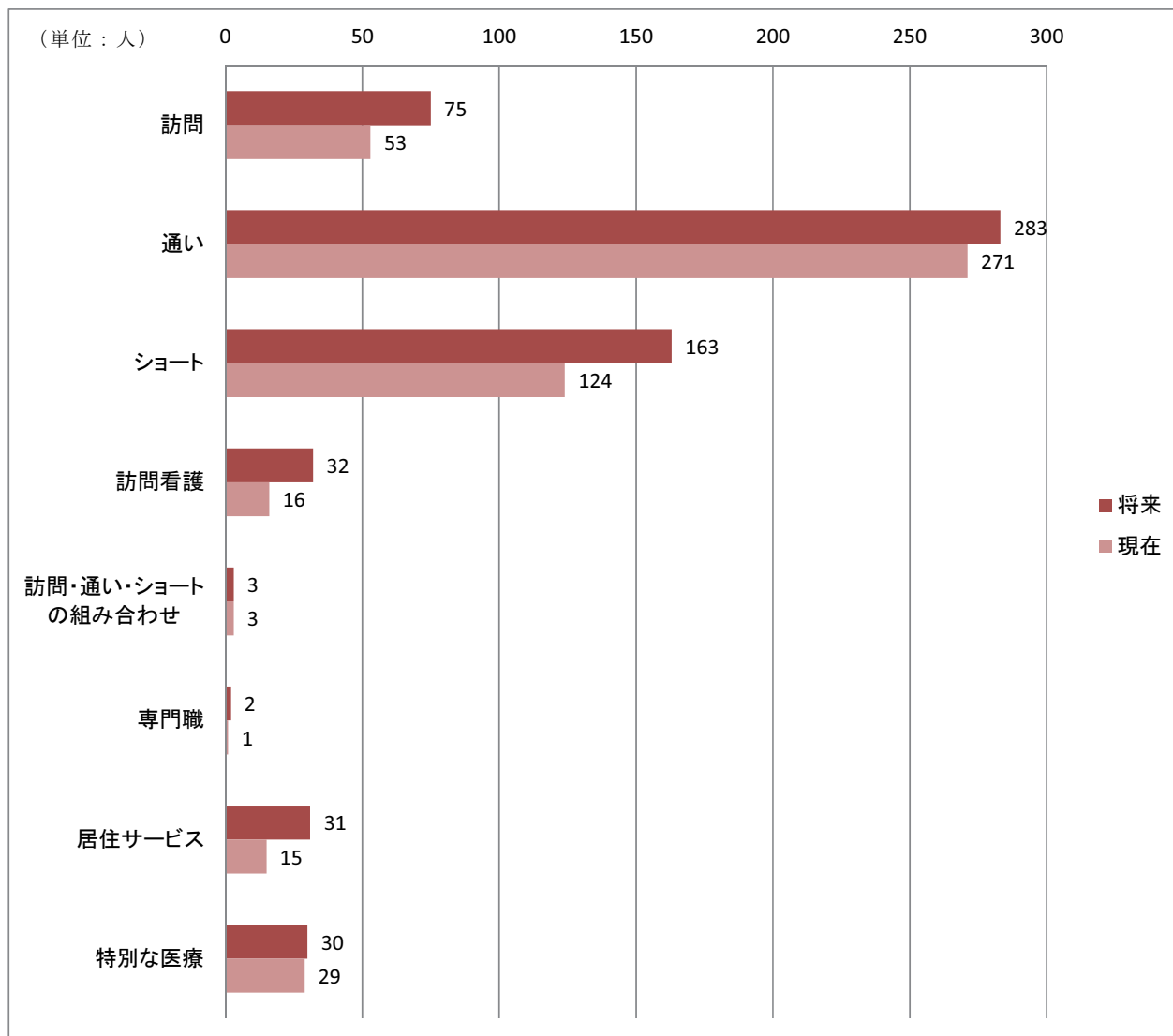
図表 2-4-1 「包括にしながらおか」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



7. 中之島

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が283人、「ショート」が163人、「訪問」が75人などとなっている。

図表2-42 「中之島」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



8. 越路

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が347人、「ショート」が207人、「訪問」が168人などとなっている。

図表2-43 「越路」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）

